

三重県市町村職員共済組合

データヘルス報告書
(令和6年度実績)

令和8年3月

目次

1	データヘルス計画の概要	2
1.1	目的と背景	2
1.2	第3期データヘルス計画の期間	2
2	共済組合の現状	3
2.1	基本情報	3
2.2	組合の現状	5
3	データ分析に基づく健康課題	7
3.1	医療費の状況	7
3.2	疾病別医療費の状況	11
3.3	着目疾病の医療費	19
3.4	特定健康診査・特定保健指導	25
3.5	健診結果の状況	27
4	第3期データヘルス計画の取組	32
4.1	基本的な考え方	32
4.2	保健事業計画（事業概要・目標等）	33
4.3	保健事業実績	41

1 データヘルス計画の概要

1.1 目的と背景

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、医療保険者は、レセプト等のデータの分析や分析結果に基づき、加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求められることになった。

三重県市町村職員共済組合（以下「当組合」という。）では、「地方公務員共済組合におけるデータヘルスの通知について（平成26年10月27日付け総行福第333号・総務省自治行政局公務員部福利課長通知）」に基づき、第1期データヘルス計画（短期給付財政安定化計画）（平成27～29年度）を策定、さらに「地方公務員共済組合におけるデータヘルスの取組について（平成29年10月10日付け総行福第205号・総務省自治行政局公務員部福利課長通知）」に基づき、第2期データヘルス計画（平成30～令和5年度）を策定し、これに則り保健事業を実施してきた。

令和6年度から、第4期特定健康診査・特定保健指導等に関連する保健・医療関係の施策とともに、第3期データヘルス計画が開始されることを踏まえ、これまでの保健事業等の実施状況を振り返り、レセプト・健診情報等のデータ分析により加入者の健康状態や医療費の現状を把握し、健康課題を明確化すると共に、課題解決に向けた効果的・効率的な保健事業を実施するための事業計画として、第3期データヘルス計画（令和6～11年度）を策定した。

本報告書は、第3期データヘルス計画の初年度である令和6年度の健康・医療費の分析結果と保健事業の実施状況を報告するものである。

1.2 第3期データヘルス計画の期間

第3期データヘルス計画の計画期間は令和6～11年度の6年間とする。

また、令和8年度を中間評価年度、令和11年度を実績評価年度と位置づける。

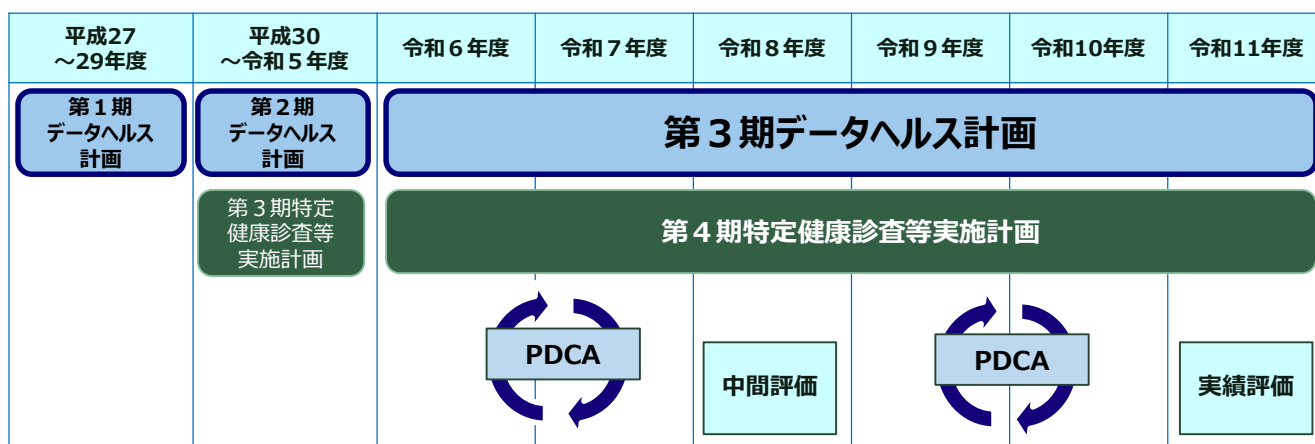


図 データヘルス計画の期間

2 共済組合の現状

2.1 基本情報

- 組合員・被扶養者全体の数は、令和4年10月からの短期組合員の加入により増加したが、令和6年度は令和5年度とほぼ横ばいである。
- 組合員数は、男性はほぼ横ばいであるが、令和4年度から女性が増加傾向である。
- 被扶養者数は、男性・女性とも令和4年度から増加傾向である。

2.1.1 男女比率・被扶養者等

令和6年度の加入者（組合員・被扶養者）の状況は以下の通りである。

当組合の組合員男性比率、40歳以上人数比率は、全国平均とほぼ同じである。

表 加入者の状況（令和7年3月末時点）

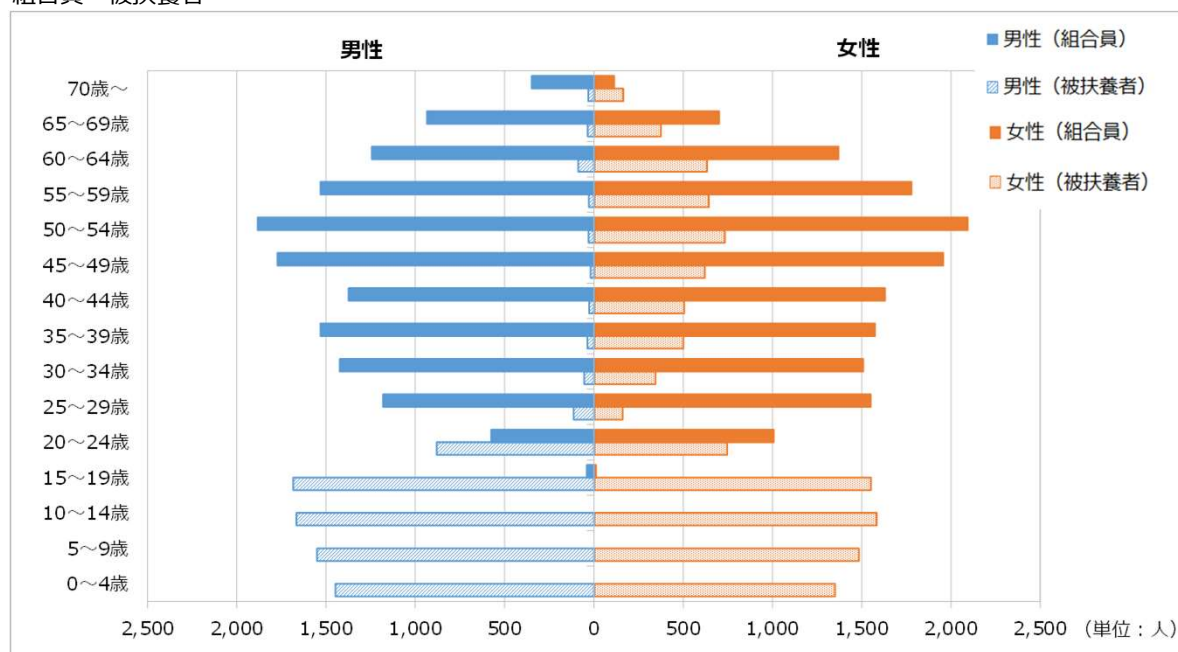
※全国平均は60構成組合の平均

		当組合	全国計・全国平均*
組合員		29,158 人	1,737,088 人
	男性比率	47.3%	男性比率 48.8%
被扶養者		19,195 人	1,136,942 人
計		48,353 人	2,874,030 人
組合員 1 人当たりの被扶養者数（扶養率）		0.66 人	0.65 人
40歳以上 人数比率	組合員	64.3%	64.6%
	被扶養者	20.6%	20.7%

【使用データ】「短期給付諸率等の状況（令和6年度）〔1〕短期適用組合員数、被扶養者数及び標準報酬総額等」他

2.1.2 加入者の年齢構成（短期組合員を含む）

■ 組合員・被扶養者



【使用データ】年齢階級別組合員数（任意継続組合員を含む）（令和6年9月末時点）

■ 2.1.3 加入者数推移（短期組合員を含む）

※加入者数の推移に係る人数は、月毎に1日以上資格を保有している人数の平均をとったもの。

■ 全体

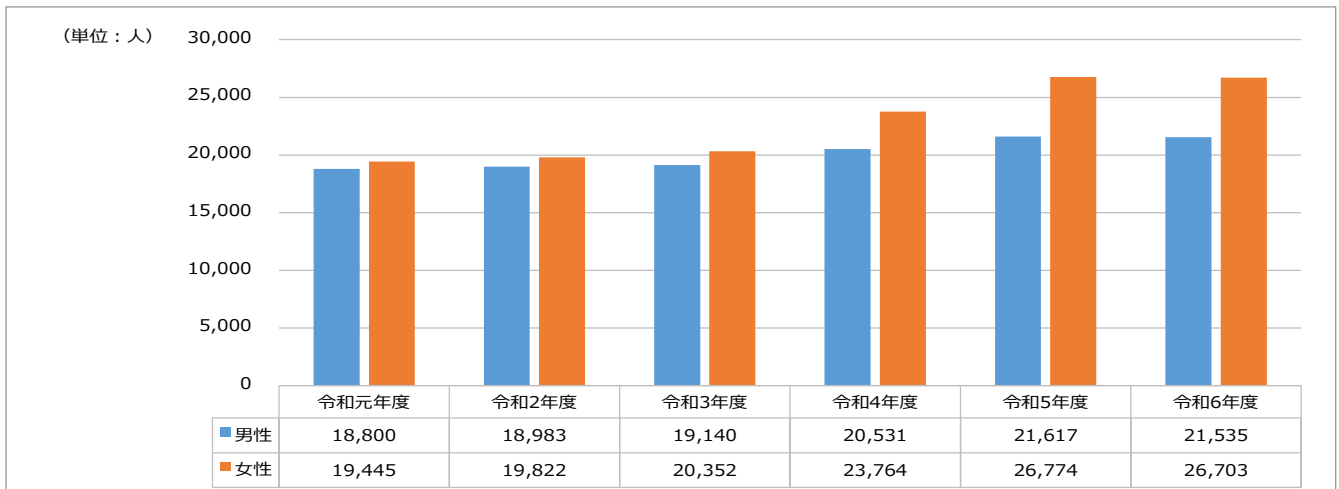


図 性別 加入者数の推移（令和元年度～令和6年度）

■ 組合員

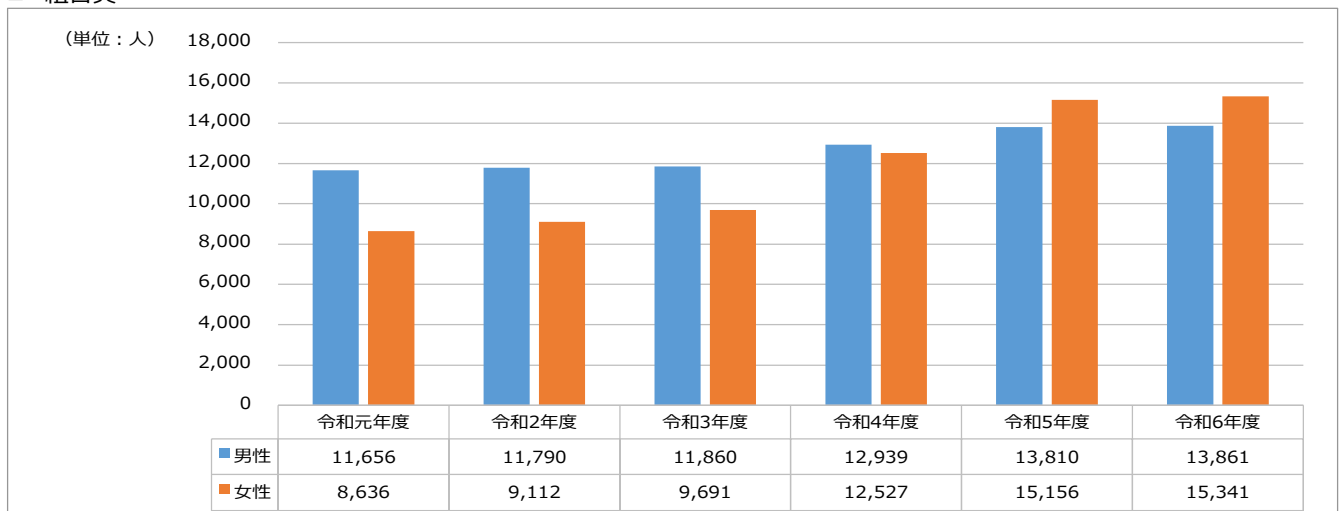


図 性別 組合員数の推移（令和元年度～令和6年度）

■ 被扶養者

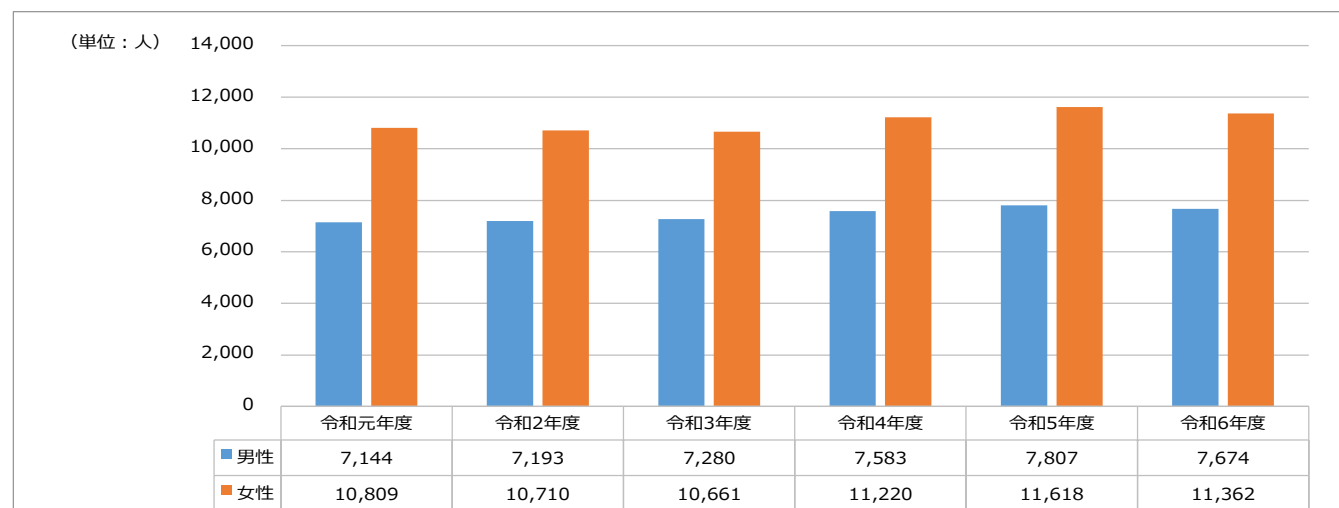


図 性別 被扶養者数の推移（令和元年度～令和6年度）

■ 2.2 組合の現状

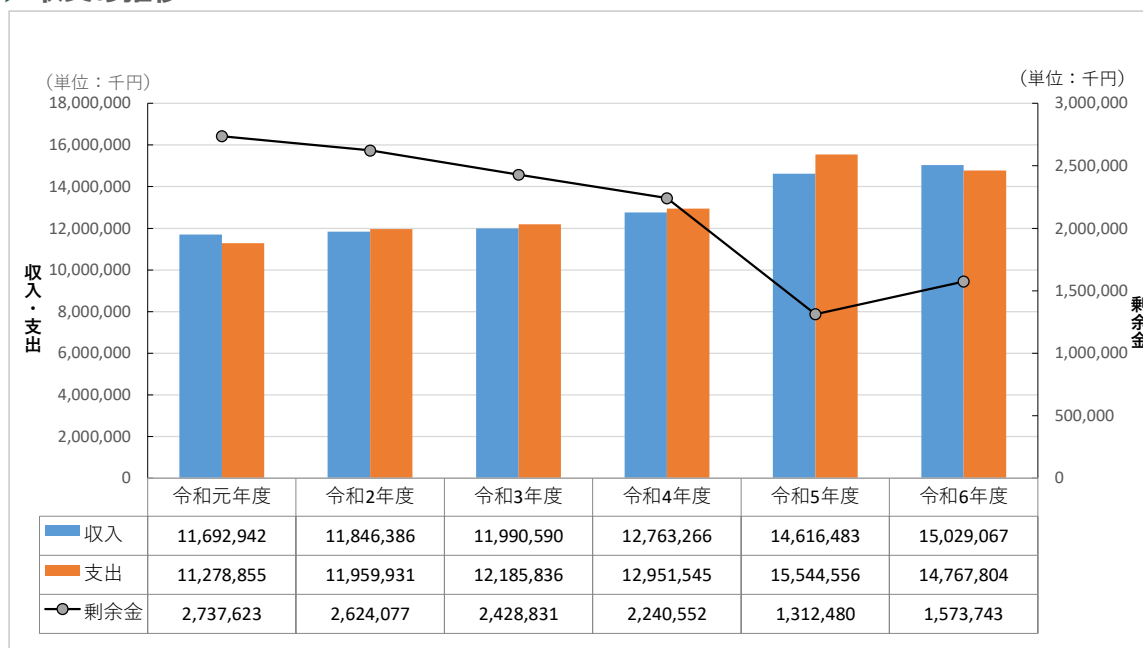
■ 2.2.1 短期給付の状況

▶ 短期給付財源率の推移

(単位:%)

会計年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
財源率	93.38	93.38	93.38	93.38	99.00	99.00

▶ 収支の推移



▶ 高齢者医療制度の支援金等の推移

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
前期高齢者拠出金	2,643,703	3,477,875	3,164,706	2,869,025	3,189,339	1,803,699
後期高齢者支援金	2,613,561	2,729,965	2,803,509	2,844,521	3,152,534	3,335,098
病床転換支援金	12	12	8	8	4	1
退職者給付拠出金	-17,809	-10,393	-5,378	-4,426	-2,146	-306
合 計	5,239,467	6,197,459	5,968,223	5,709,128	6,339,731	5,138,492
支出に対する割合	46.5%	51.8%	48.9%	44.1%	40.8%	34.8%

■ 2.2.2 所属所数

令和7年4月時点の所属所数は、市14、町15、一部事務組合等32の計61である。

■ 2.2.3 データヘルスの実施体制

保険課健康係が主体となって、所属所と連携を密にしてデータヘルス計画を推進している。
当組合と健康づくりに関する協定を締結した自治体と協会けんぽ三重支部が合同で行う集団健診で特定健康診査が受診可能となるようにし、また、その他の保健事業では他団体等との協働も推進している。

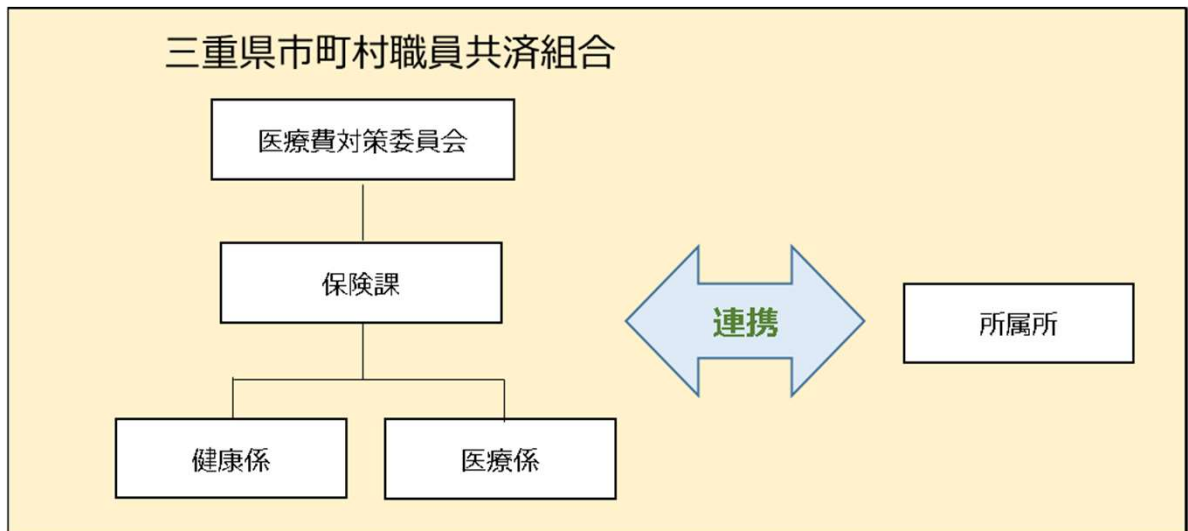


図 データヘルス実施体制

3 データ分析に基づく健康課題

3.1 医療費の状況

3.1.1 医療費

- 令和元年度～令和6年度の推移を見ると、総医療費、1人当たり医療費とも、令和2年度に新型コロナ禍における受診控え等の影響で一時的に減少したが、令和3年度以降増加している。
- 令和4年10月の短期組合員加入により加入者が増加したことが、総医療費・1人当たり医療費増加の要因と考えられ、特に外来・調剤医療費が著しく増加している。
- 受診率については、令和3年度以降外来・歯科が増加しており、入院については令和4年度まで下降傾向にあったが令和5年度に大きく増加、令和元年度の受診率と同程度となっている。

▶ 加入者の総医療費推移

表 総医療費の推移

(単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全体	入院	1,523,859	1,511,746	1,510,921	1,743,513	2,107,984	2,392,878
	外来	2,481,069	2,370,360	2,713,363	3,641,854	4,165,815	4,229,158
	歯科	681,554	701,624	758,408	875,530	1,022,105	1,084,324
	調剤	1,197,034	1,180,626	1,251,204	1,595,148	2,087,932	2,153,487
	計	5,883,516	5,764,355	6,233,897	7,856,045	9,383,836	9,859,847
組合員	入院	806,723	776,332	754,754	946,518	1,230,063	1,435,824
	外来	1,371,746	1,377,811	1,563,960	2,174,060	2,619,759	2,717,631
	歯科	391,840	420,302	459,184	562,801	678,133	719,421
	調剤	680,428	682,717	721,979	967,639	1,305,762	1,325,242
	計	3,250,737	3,257,161	3,499,877	4,651,017	5,833,718	6,198,118
被扶養者	入院	717,136	735,414	756,167	796,996	877,920	957,054
	外来	1,109,324	992,549	1,149,403	1,467,794	1,546,055	1,511,526
	歯科	289,714	281,322	299,224	312,729	343,972	364,904
	調剤	516,606	497,909	529,225	627,509	782,170	828,245
	計	2,632,779	2,507,194	2,734,019	3,205,028	3,550,118	3,661,729

前提事項

○医療費関連

- 任意継続組合員は、組合員として集計。
- 医療費分析における令和4年度医療費は、令和4年10月～令和5年3月診療分の短期組合員医療費を含む。

○特定健診、特定保健指導関連

- 「4.4 特定健康診査・特定保健指導」における任意継続組合員は、被扶養者として集計。

■ 全体

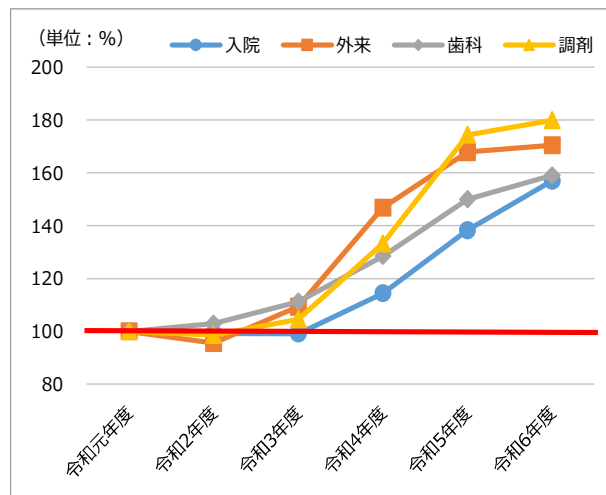
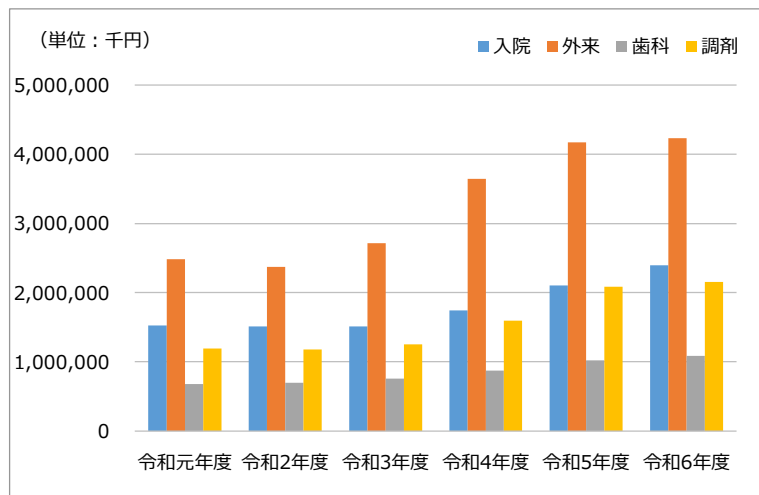


図 総医療費の推移（全体）

■ 組合員

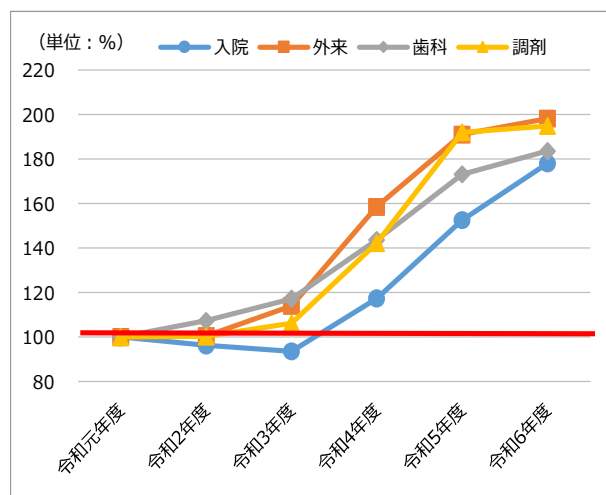
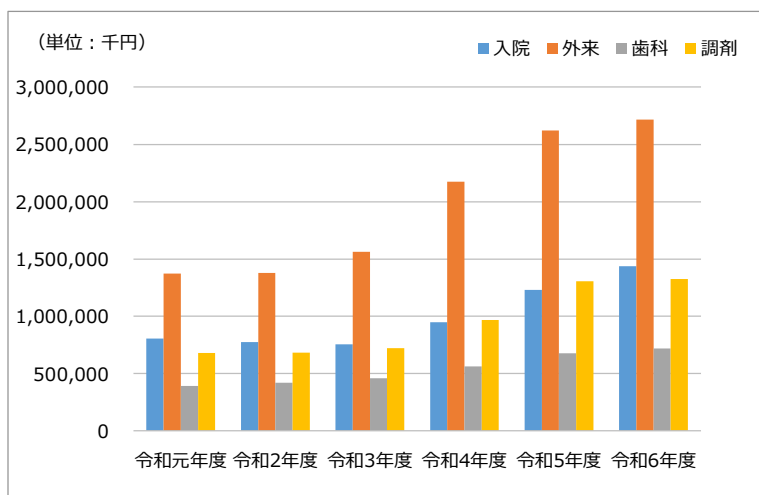


図 総医療費の推移（組合員）

■ 被扶養者

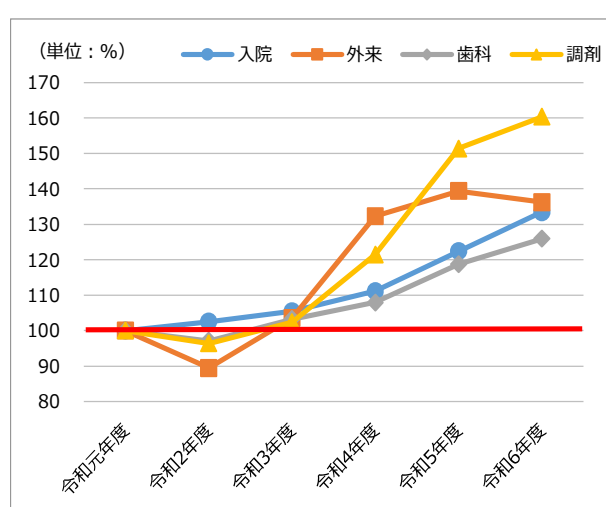
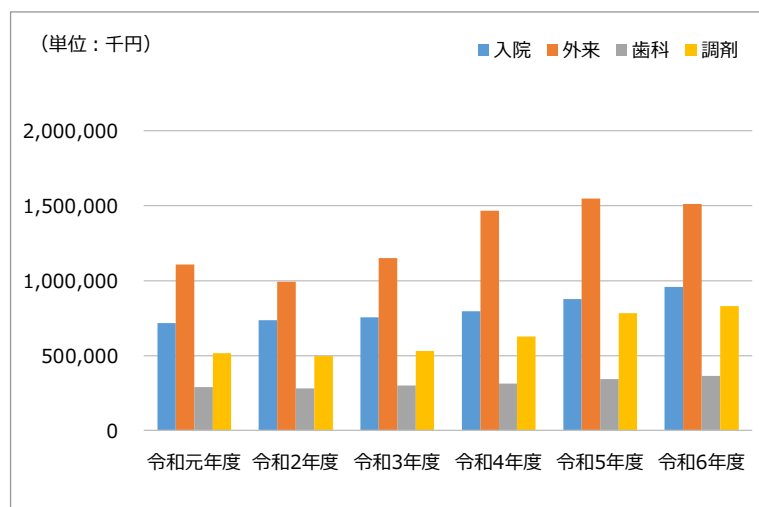


図 総医療費の推移（被扶養者）

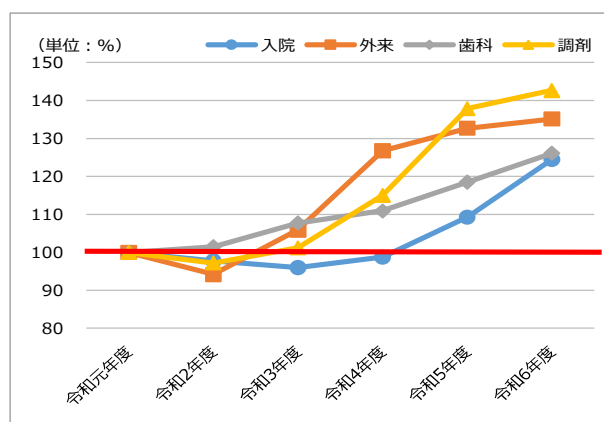
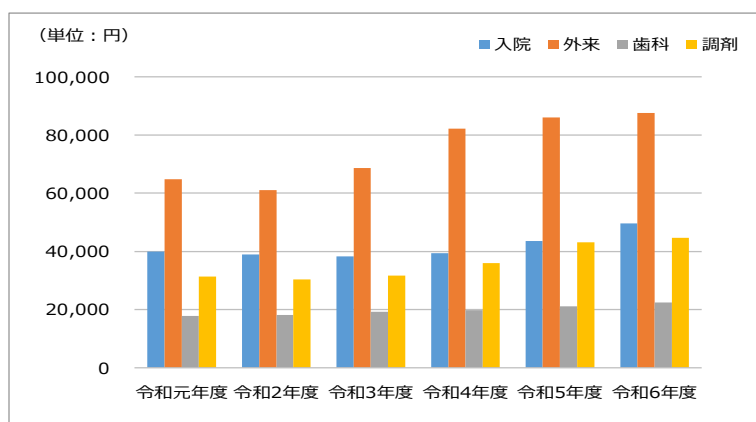
▶ 加入者1人当たり医療費推移

表 1人当たり医療費の推移

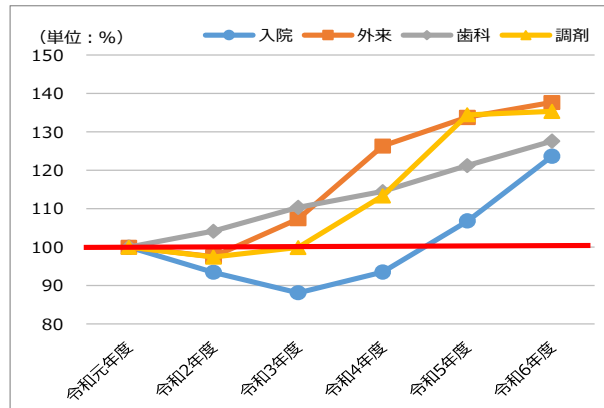
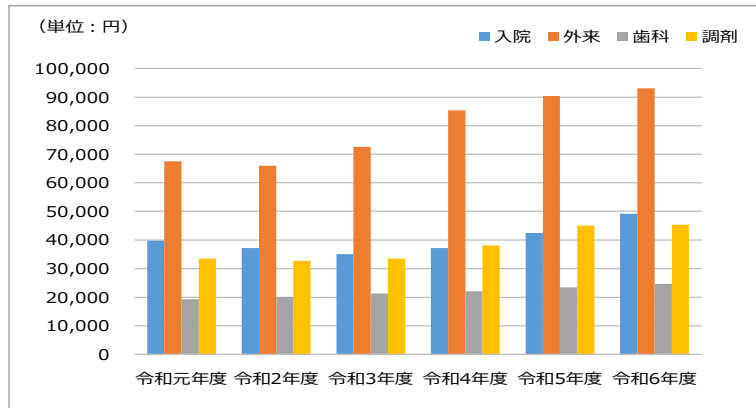
(単位：円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全体	入院	39,845	38,957	38,259	39,361	43,561	49,606
	外来	64,873	61,084	68,707	82,218	86,087	87,673
	歯科	17,821	18,081	19,204	19,766	21,122	22,479
	調剤	31,299	30,425	31,682	36,012	43,147	44,643
組合員	入院	39,756	37,142	35,022	37,169	42,466	49,169
	外来	67,600	65,918	72,570	85,374	90,443	93,063
	歯科	19,310	20,108	21,307	22,101	23,411	24,636
	調剤	33,532	32,663	33,501	37,999	45,079	45,382
被扶養者	入院	39,945	41,078	42,147	42,326	45,195	50,276
	外来	61,790	55,440	64,066	77,950	79,591	79,404
	歯科	16,137	15,714	16,678	16,608	17,708	19,169
	調剤	28,775	27,812	29,498	33,325	40,266	43,509

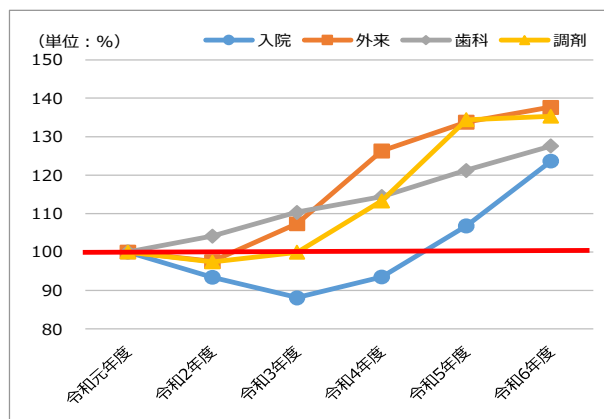
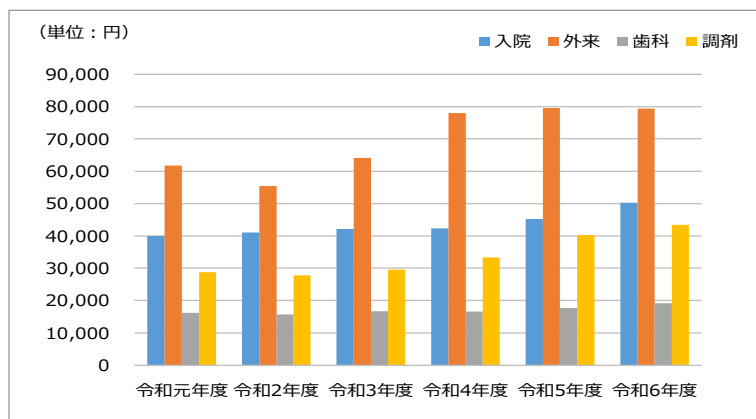
■ 全体



■ 組合員



■ 被扶養者



▶ 受診率推移

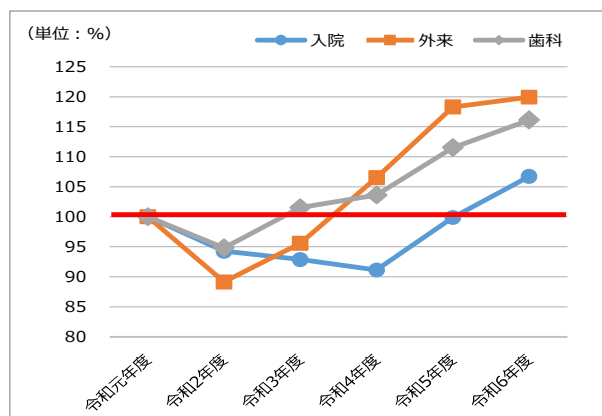
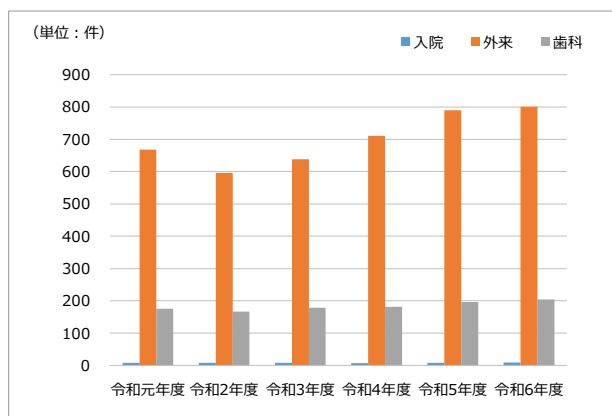
受診率・・・組合員・被扶養者100人当たりのレセプト件数

表 受診率の推移

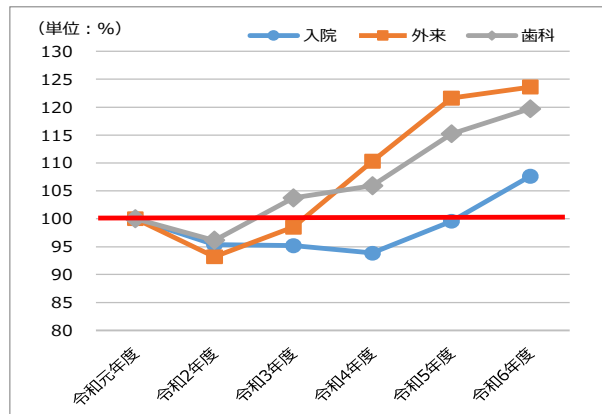
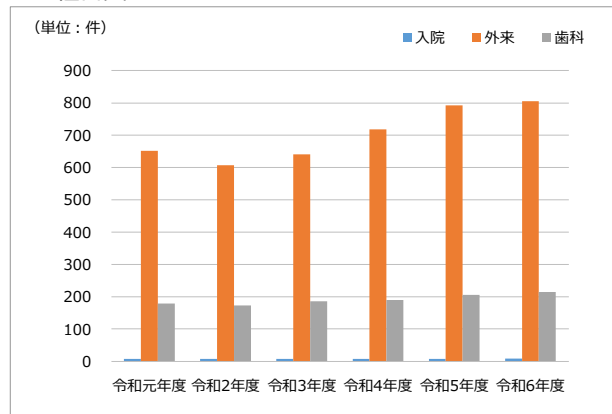
(単位：件)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全体	入院	8.5	8.0	7.9	7.8	8.5	9.1
	外来	667.9	595.2	638.1	711.3	790.1	801.0
	歯科	175.8	166.7	178.5	182.2	196.1	204.2
組合員	入院	8.1	7.7	7.7	7.6	8.0	8.7
	外来	651.3	607.0	641.4	718.3	792.2	805.1
	歯科	179.3	172.4	186.0	189.9	206.6	214.6
被扶養者	入院	9.0	8.4	8.2	8.0	9.2	9.7
	外来	686.6	581.5	634.2	701.9	787.0	794.7
	歯科	171.9	160.1	169.5	171.7	180.4	188.1

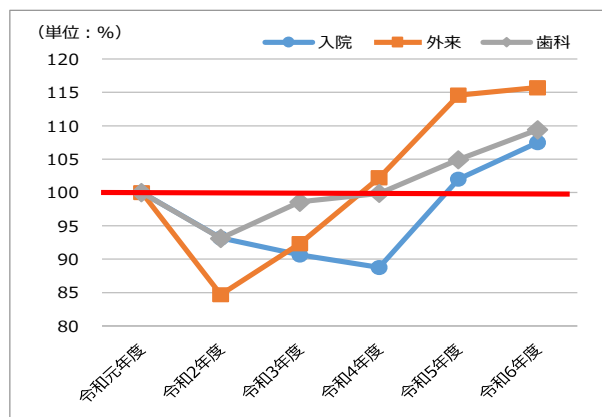
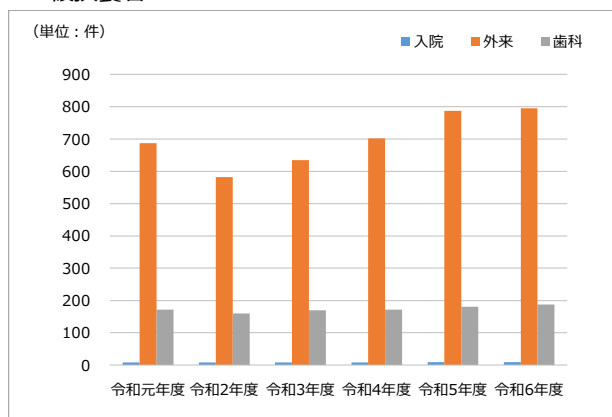
■ 全体



■ 組合員



■ 被扶養者



■ 3.2 疾病別医療費の状況

■ 3.2.1 疾病大分類別医療費

- 総医療費・レセプト1件当たり医療費が共に高額なのは新生物である。呼吸器系疾患はレセプト1件当たり医療費は低いが総医療費が高い。
- 組合員は、新生物の総医療費が最も高く、全体の約19%を占める。
- 被扶養者は、呼吸器系疾患の総医療費が最も高く、全体の約18%を占める。
※疾病別医療費は入院・外来のレセプトの合算であり、歯科・調剤レセプトは含まない、また、疾病の分類が出来ないレセプトは集計対象外。

▶ 総医療費、レセプト1件当たり医療費

■ 全体（令和6年度）

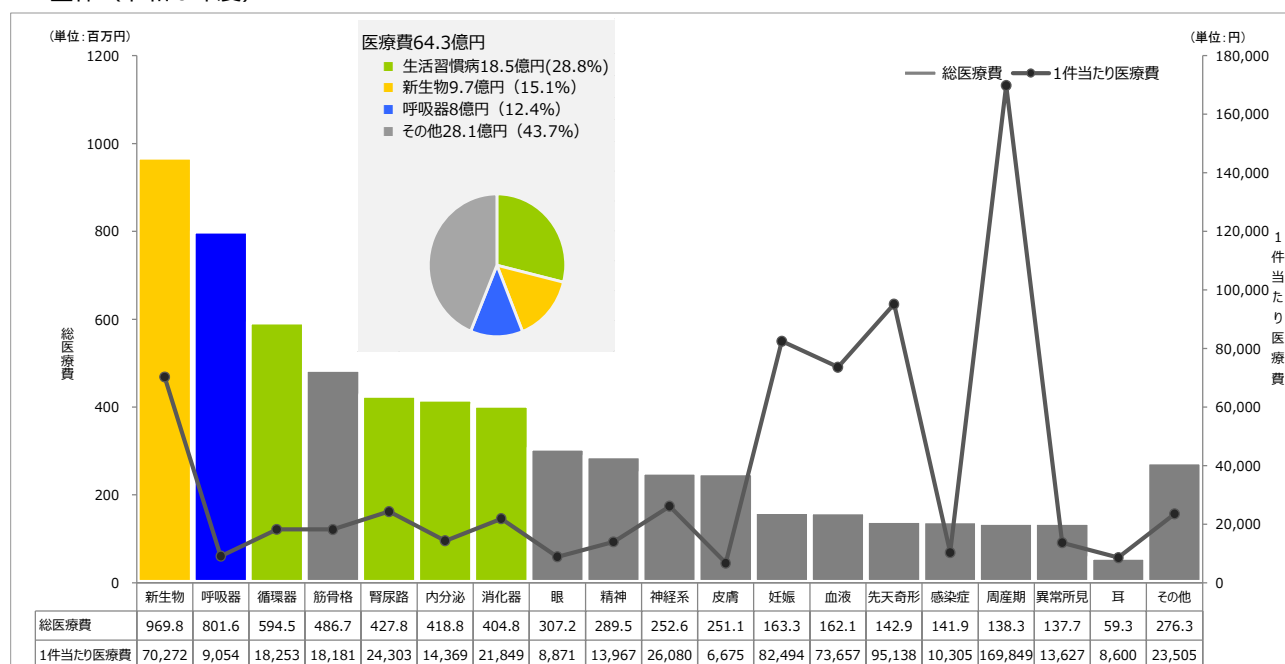


図 疾病大分類別総医療費・レセプト1件当たり医療費（全体・令和6年度）

■ 組合員（令和6年度）

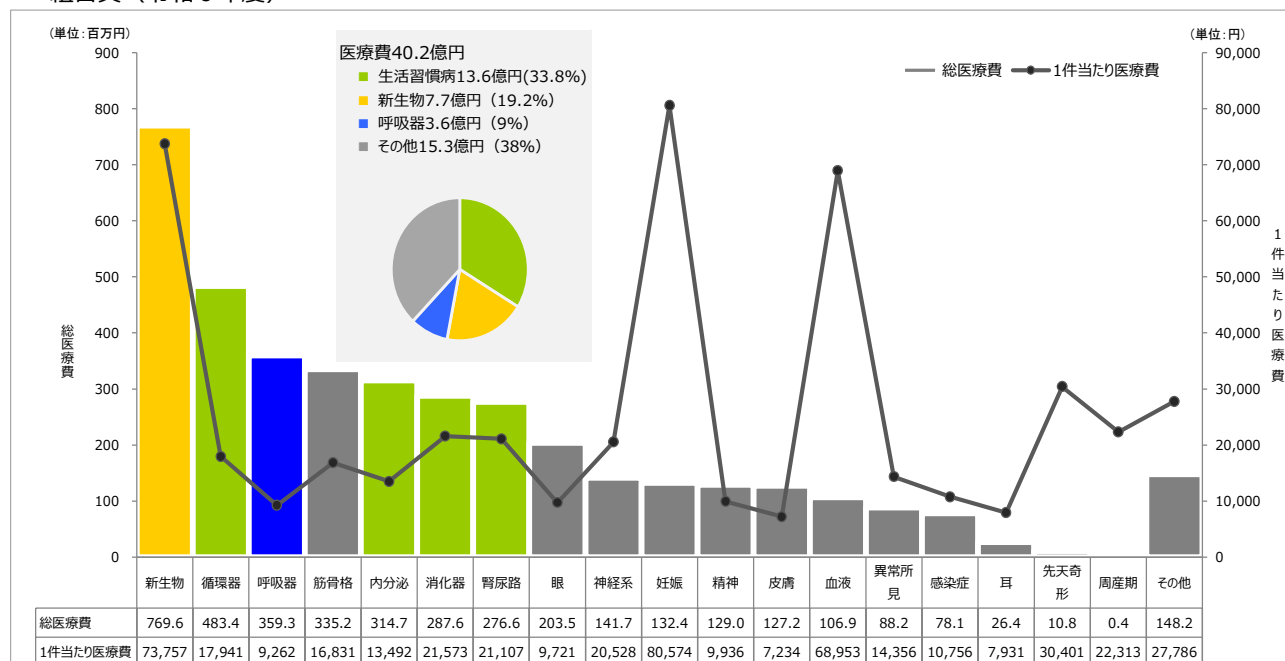


図 疾病大分類別総医療費・レセプト1件当たり医療費（組合員・令和6年度）

■ 被扶養者（令和6年度）

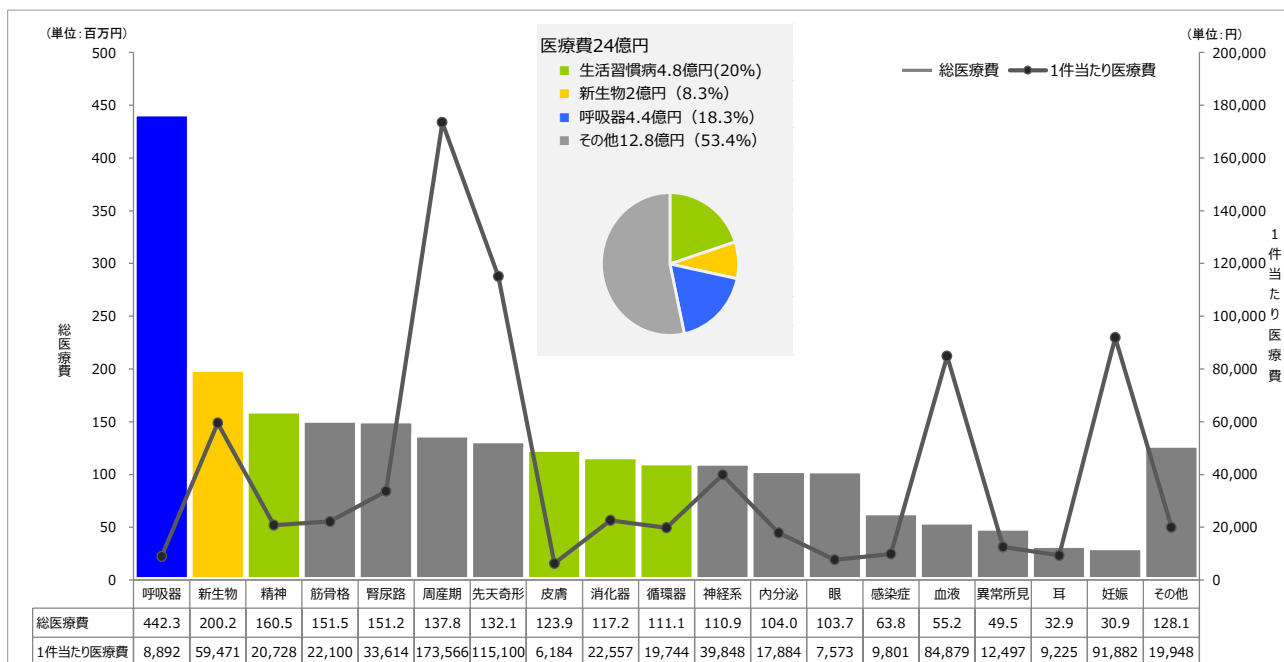


図 疾病大分類別総医療費・レセプト1件当たり医療費（被扶養者・令和6年度）

■ 3.2.2 疾病中分類別医療費

- 組合員は「その他の悪性新生物」が最も高いが、「高血圧性疾患」「糖尿病」も上位にある。
- 被扶養者は「喘息」が最も高く、「急性上気道感染症」等の呼吸器系疾患が上位にある。
- 男性は「その他の悪性新生物」「高血圧性疾患」が上位にあり、「その他の悪性新生物」は令和4年度から令和6年度にかけて上昇している。
- 女性は「乳房の悪性新生物」が6年連続で上位にあり、「高血圧性疾患」が令和4年度から上位になっている。「乳房及びその他女性生殖器の疾患」が令和3年度から令和6年度にかけて上昇している。

▶ 疾病中分類別総医療費

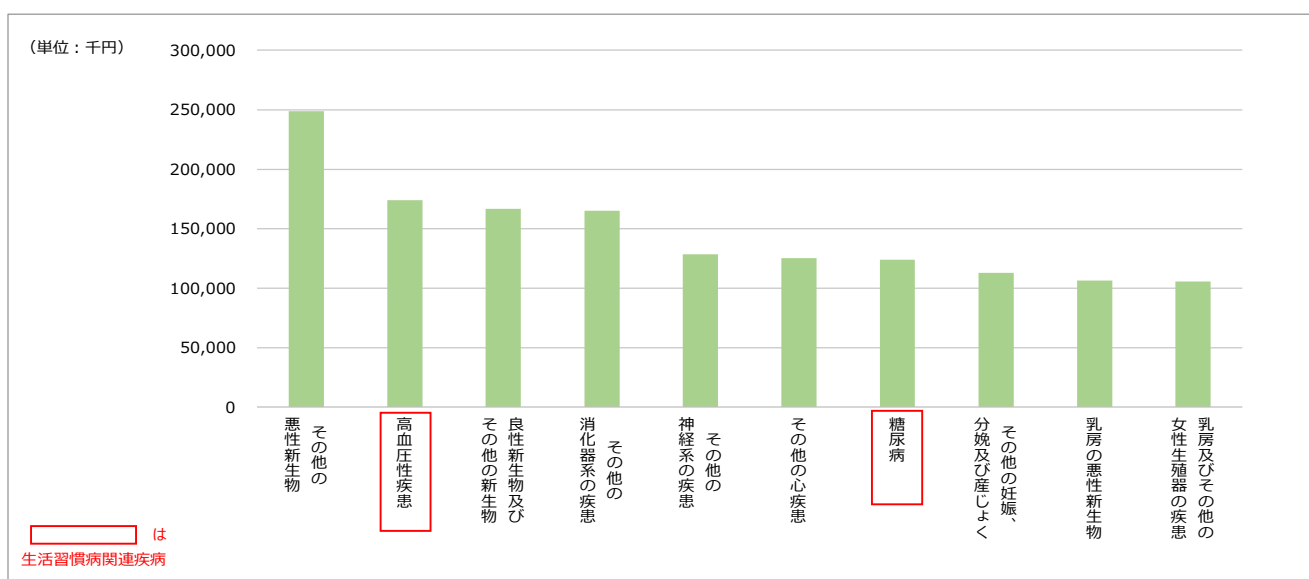


図 疾病中分類別総医療費（上位10疾病・組合員）（令和6年度）

■ 被扶養者（令和6年度）

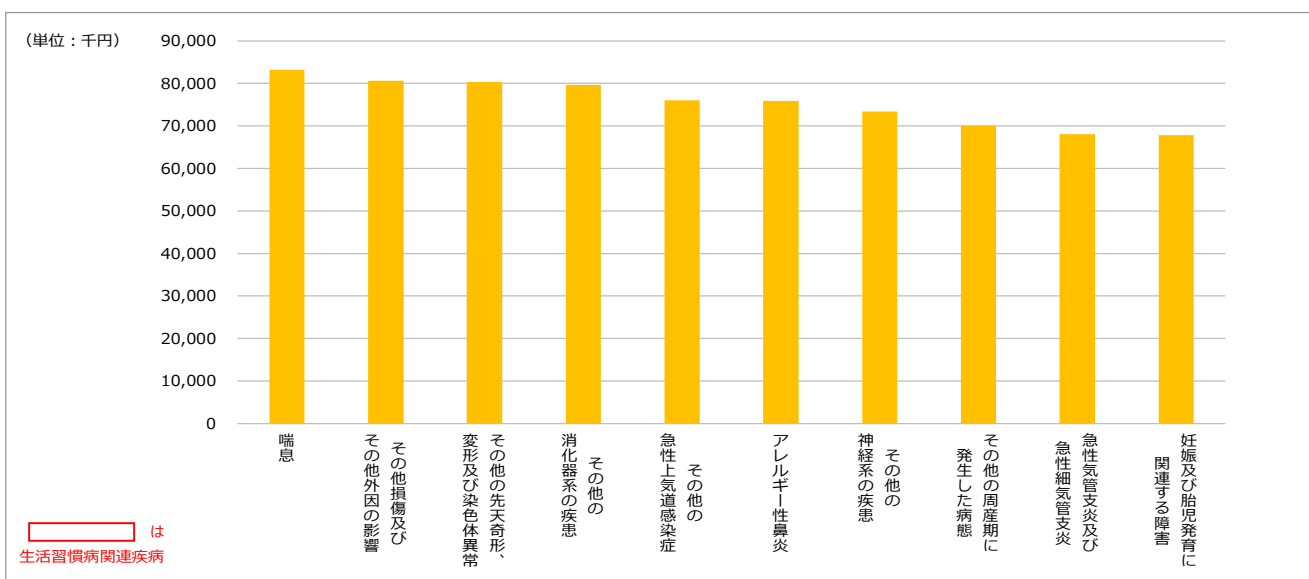


図 疾病中分類別総医療費（上位10疾病・被扶養者）（令和6年度）

▶ 加入者全体の疾病中分類別総医療費の推移（男性・女性）

■ 男性

表 疾病中分類別総医療費（男性）（令和元年度～令和6年度）

（単位：千円）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
1位	その他の消化器系の疾患	94,369	その他の悪性新生物	89,173	その他の消化器系の疾患	101,190	その他の消化器系の疾患	109,167	その他の悪性新生物	155,373	その他の悪性新生物	188,220
2位	腎不全	82,633	その他損傷及びその他外因の影響	84,717	その他の悪性新生物	77,810	白血病	104,786	その他の消化器系の疾患	120,810	その他の消化器系の疾患	133,663
3位	その他の悪性新生物	80,451	その他の消化器系の疾患	82,904	妊娠及び胎児発育に関連する障害	71,318	その他の悪性新生物	100,750	高血圧性疾患	120,641	高血圧性疾患	114,232
4位	悪性リンパ腫	78,786	その他の神経系の疾患	78,859	その他損傷及びその他外因の影響	67,273	高血圧性疾患	94,206	その他損傷及びその他外因の影響	102,675	その他の神経系の疾患	103,095
5位	その他損傷及びその他外因の影響	71,942	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	76,780	その他の神経系の疾患	65,197	その他の神経系の疾患	88,870	その他の心疾患	100,094	糖尿病	91,134
6位	高血圧性疾患	63,940	腎不全	71,193	高血圧性疾患	62,655	妊娠及び胎児発育に関連する障害	75,683	その他の神経系の疾患	95,423	その他の心疾患	90,141
7位	その他の神経系の疾患	63,263	高血圧性疾患	61,970	糖尿病	62,526	糖尿病	73,717	糖尿病	94,279	その他損傷及びその他外因の影響	83,497
8位	その他の心疾患	57,834	糖尿病	51,407	白血病	56,670	その他損傷及びその他外因の影響	67,583	その他の呼吸器系の疾患	78,967	虚血性心疾患	75,778
9位	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	51,720	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	48,142	喘息	53,047	アレルギー性鼻炎	64,326	アレルギー性鼻炎	73,636	腎不全	72,890
10位	アレルギー性鼻炎	48,495	アレルギー性鼻炎	47,574	皮膚炎及び湿疹	51,385	その他の急性上気道感染症	59,075	腎不全	73,597	アレルギー性鼻炎	71,458

■ 女性

表 疾病中分類別総医療費（女性）（令和元年度～令和6年度）

（単位：千円）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
1位	その他の妊娠、分娩及び産じょく	118,496	その他の妊娠、分娩及び産じょく	121,642	その他の妊娠、分娩及び産じょく	136,546	その他の妊娠、分娩及び産じょく	153,166	良性新生物及びその他の新生物	168,924	良性新生物及びその他の新生物	170,259
2位	良性新生物及びその他の新生物	114,972	良性新生物及びその他の新生物	113,171	良性新生物及びその他の新生物	111,332	良性新生物及びその他の新生物	133,121	その他の妊娠、分娩及び産じょく	146,551	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	145,920
3位	その他の悪性新生物	88,019	その他の悪性新生物	94,887	その他の悪性新生物	101,070	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	113,209	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	127,818	その他の妊娠、分娩及び産じょく	138,342
4位	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	63,939	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	75,629	その他の消化器系の疾患	87,504	乳房の悪性新生物	109,651	その他の消化器系の疾患	117,493	乳房の悪性新生物	136,043
5位	乳房の悪性新生物	57,751	その他の消化器系の疾患	64,971	乳房の悪性新生物	85,865	その他の消化器系の疾患	89,319	乳房の悪性新生物	113,372	その他の消化器系の疾患	110,945
6位	屈折及び調節の障害	51,120	乳房の悪性新生物	58,683	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	77,098	高血圧性疾患	68,991	高血圧性疾患	97,779	その他の神経系の疾患	98,874
7位	その他の急性上気道感染症	50,496	屈折及び調節の障害	55,625	屈折及び調節の障害	63,620	屈折及び調節の障害	67,965	その他の悪性新生物	92,344	高血圧性疾患	90,129
8位	その他損傷及びその他外因の影響	50,161	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	46,164	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	56,431	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	67,914	その他の急性上気道感染症	87,415	屈折及び調節の障害	89,963
9位	その他の消化器系の疾患	49,711	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	44,634	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	54,054	その他の急性上気道感染症	66,733	屈折及び調節の障害	84,873	その他の悪性新生物	88,496
10位	アレルギー性鼻炎	45,767	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	43,718	その他損傷及びその他外因の影響	52,815	その他損傷及びその他外因の影響	65,945	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	83,999	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	86,864

は悪性新生物、は生活習慣病関連疾病、は呼吸器関連疾病を表す。

▶ 疾病中分類別 レセプト1件当たり医療費

■ 組合員（令和6年度）

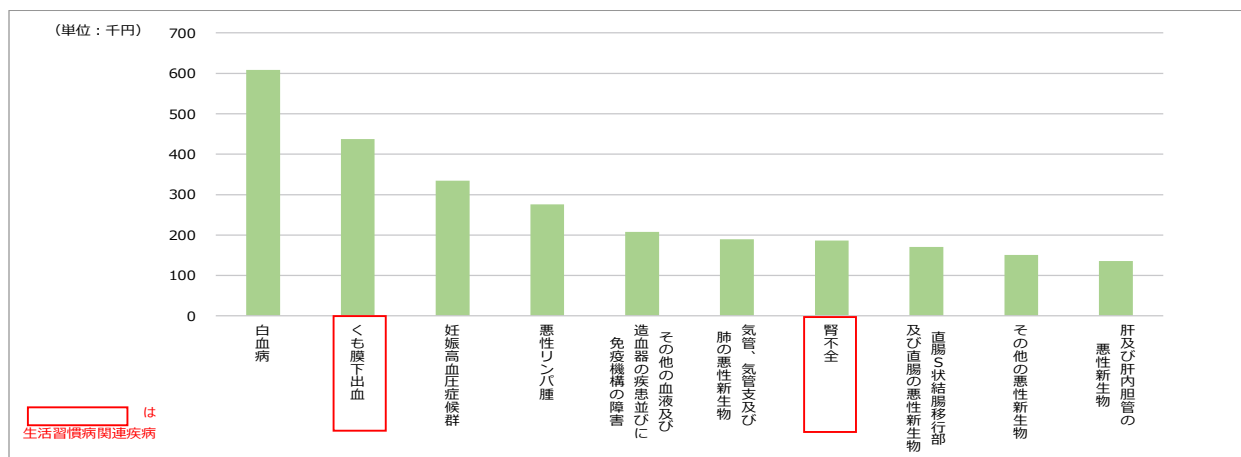


図 疾病中分類別レセプト1件当たり医療費（上位10疾病・組合員）（令和6年度）

■ 被扶養者（令和6年度）

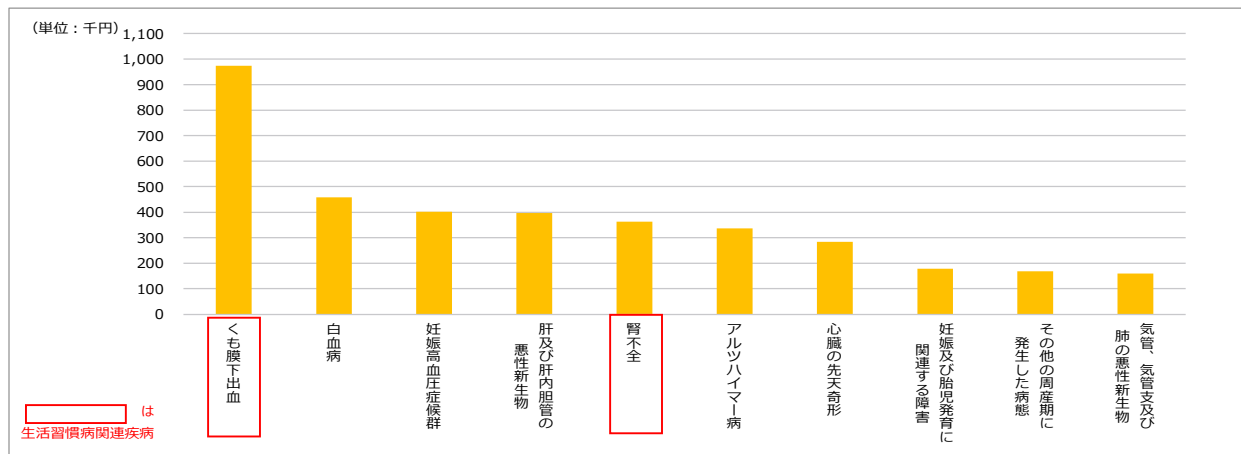


図 疾病中分類別レセプト1件当たり医療費（上位10疾病・被扶養者）（令和6年度）

▶ 疾病中分類別 レセプト1件当たり医療費推移

■ 全体

表 疾病中分類別レセプト1件当たり医療費（令和元年度～令和6年度）

(単位：円)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
1位	悪性リンパ腫	513,708	肝硬変（アルコール性のものを除く）	391,396	白血病	848,650	白血病	776,640	白血病	361,677	くも膜下出血	637,606
2位	白血病	275,814	白血病	389,930	妊娠高血圧症候群	317,243	妊娠及び胎児発育に関連する障害	248,563	妊娠高血圧症候群	331,807	白血病	545,323
3位	腎不全	263,988	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	365,416	妊娠及び胎児発育に関連する障害	276,620	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	236,645	くも膜下出血	311,578	妊娠高血圧症候群	348,298
4位	妊娠高血圧症候群	230,168	くも膜下出血	306,383	心臓の先天奇形	225,896	腎不全	222,362	悪性リンパ腫	295,469	腎不全	237,972
5位	くも膜下出血	219,603	腎不全	299,804	腎不全	224,626	悪性リンパ腫	207,157	腎不全	241,412	アルツハイマー病	237,322
6位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	215,499	妊娠高血圧症候群	262,998	その他の周産期に発生した病態	192,696	妊娠高血圧症候群	196,682	妊娠及び胎児発育に関連する障害	195,774	悪性リンパ腫	234,778
7位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	197,799	妊娠及び胎児発育に関連する障害	218,674	血管性及び詳細不明の認知症	192,220	その他の周産期に発生した病態	154,274	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	184,122	肝及び肝内胆管の悪性新生物	232,642
8位	心臓の先天奇形	161,403	血管性及び詳細不明の認知症	198,703	気管、気管支及び肺の悪性新生物	188,851	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	142,576	その他の周産期に発生した病態	176,599	心臓の先天奇形	230,378
9位	血管性及び詳細不明の認知症	147,227	その他の悪性新生物	162,167	悪性リンパ腫	165,252	脳内出血	117,352	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	175,023	気管、気管支及び肺の悪性新生物	183,808
10位	その他の悪性新生物	132,030	痔核	159,044	脳内出血	150,830	その他の悪性新生物	114,216	アルツハイマー病	173,865	妊娠及び胎児発育に関連する障害	171,988

悪性新生物、生活習慣病関連疾病を表す。

▶ 疾病中分類別 レセプト件数

■ 組合員（令和6年度）

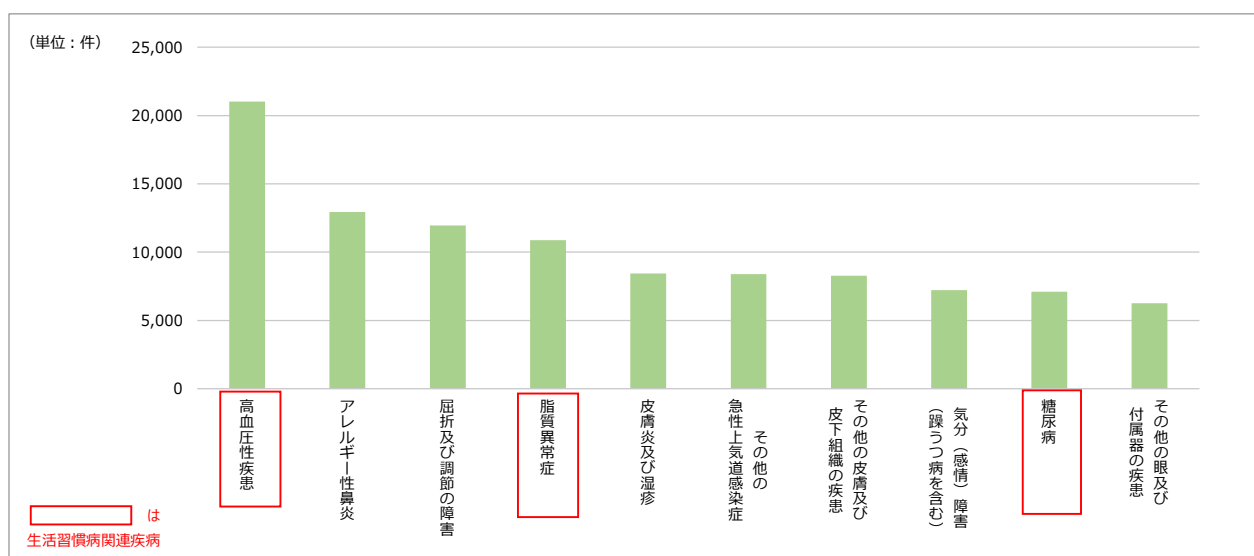


図 疾病中分類別レセプト件数（上位10疾病・組合員）（令和6年度）

■ 被扶養者（令和6年度）

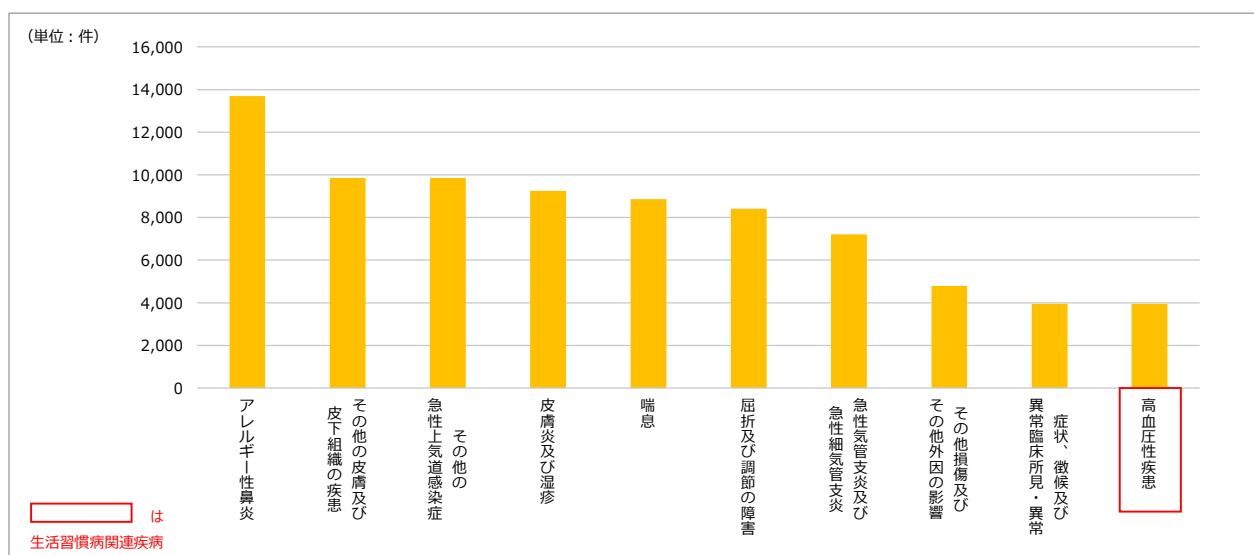


図 疾病中分類別レセプト件数（上位10疾病・被扶養者）（令和6年度）

▶ 疾病中分類別 年齢階層別医療費（上位3疾病）

■ 組合員・男性（令和6年度）

表 年齢階層別医療費の状況（組合員・男性・疾病中分類別上位3疾病）（令和6年度）

項目	年齢階層 (歳)	男性		
		1位	2位	3位
総医療費	20-29	その他の消化器系の疾患	その他の呼吸器系の疾患	腸管感染症
	30-39	その他の消化器系の疾患	その他の悪性新生物	その他の急性上気道感染症
	40-49	その他の消化器系の疾患	腎不全	その他の神経系の疾患
	50-59	その他の悪性新生物	その他の神経系の疾患	高血圧性疾患
	60-69	その他の悪性新生物	高血圧性疾患	その他の心疾患
レセプト 1件当たり 医療費	20-29	脾疾患	心臓の先天奇形	骨折
	30-39	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	その他の悪性新生物	その他の循環器系の疾患
	40-49	腎不全	貧血	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物
	50-59	白血病	くも膜下出血	悪性リンパ腫
	60-69	白血病	気管、気管支及び肺の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物
受診率	20-29	アレルギー性鼻炎	皮膚炎及び湿疹	その他の急性上気道感染症
	30-39	アレルギー性鼻炎	その他の急性上気道感染症	皮膚炎及び湿疹
	40-49	アレルギー性鼻炎	高血圧性疾患	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	50-59	高血圧性疾患	脂質異常症	糖尿病
	60-69	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症

■ 組合員・女性（令和6年度）

表 年齢階層別医療費の状況（組合員・女性・疾病中分類別上位3疾病）（令和6年度）

項目	年齢階層 (歳)	女性		
		1位	2位	3位
総医療費	20-29	その他の妊娠、分娩及び産じょく	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	症状、徴候及び異常臨床所見・異常
	30-39	その他の妊娠、分娩及び産じょく	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害
	40-49	良性新生物及びその他の新生物	乳房の悪性新生物	乳房及びその他の女性生殖器の疾患
	50-59	良性新生物及びその他の新生物	乳房の悪性新生物	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
	60-69	関節症	乳房の悪性新生物	高血圧性疾患
レセプト 1件当たり 医療費	20-29	悪性リンパ腫	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	妊娠高血圧症候群
	30-39	妊娠高血圧症候群	悪性リンパ腫	結腸の悪性新生物
	40-49	妊娠高血圧症候群	悪性リンパ腫	白血病
	50-59	くも膜下出血	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物
	60-69	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	腎不全	胆石症及び胆のう炎
受診率	20-29	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	アレルギー性鼻炎	屈折及び調節の障害
	30-39	アレルギー性鼻炎	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	その他の急性上気道感染症
	40-49	アレルギー性鼻炎	屈折及び調節の障害	良性新生物及びその他の新生物
	50-59	高血圧性疾患	脂質異常症	屈折及び調節の障害
	60-69	高血圧性疾患	脂質異常症	屈折及び調節の障害

は30歳以上で生活習慣病関連疾病に定義される疾病（大分類で消化器系、筋骨格及び結合組織疾患を除く）

■ 被扶養者・男性（令和6年度）

表 年齢階層別医療費の状況（被扶養者・男性・疾病中分類別上位3疾病）（令和6年度）

項目	年齢階層 (歳)	男性		
		1位	2位	3位
総医療費	20-29	貧血	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	30-39	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	その他の精神及び行動の障害	その他の皮膚及び皮下組織の疾患
	40-49	糖尿病	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	50-59	その他の心疾患	その他の神経系の疾患	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
	60-69	その他の呼吸器系の疾患	アルツハイマー病	その他の心疾患
レセプト 1件当たり 医療費	20-29	貧血	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	その他の先天奇形、変形及び染色体異常
	30-39	脊椎障害（脊椎症を含む）	その他の精神及び行動の障害	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	40-49	その他損傷及びその他外因の影響	その他の感染症及び寄生虫症	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	50-59	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	アルコール性肝疾患	脾疾患
	60-69	その他の呼吸器系の疾患	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	アルツハイマー病
受診率	20-29	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚炎及び湿疹	アレルギー性鼻炎
	30-39	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	その他の精神及び行動の障害
	40-49	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	糖尿病	高血圧性疾患
	50-59	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	脊椎障害（脊椎症を含む）	その他の神経系の疾患
	60-69	高血圧性疾患	その他の神経系の疾患	糖尿病

■ 被扶養者・女性（令和6年度）

表 年齢階層別医療費の状況（被扶養者・女性・疾病中分類別上位3疾病）（令和6年度）

項目	年齢階層 (歳)	女性		
		1位	2位	3位
総医療費	20-29	その他の神経系の疾患	その他の精神及び行動の障害	その他の妊娠、分娩及び産じょく
	30-39	その他の妊娠、分娩及び産じょく	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	乳房及びその他の女性生殖器の疾患
	40-49	その他の消化器系の疾患	良性新生物及びその他の新生物	乳房の悪性新生物
	50-59	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	良性新生物及びその他の新生物	その他損傷及びその他外因の影響
	60-69	腎不全	くも膜下出血	高血圧性疾患
レセプト 1件当たり 医療費	20-29	中毒	その他の妊娠、分娩及び産じょく	その他の神経系の疾患
	30-39	妊娠高血圧症候群	腎不全	炎症性多発性関節障害
	40-49	胆石症及び胆のう炎	肝硬変（アルコール性のものを除く）	その他の消化器系の疾患
	50-59	くも膜下出血	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物
	60-69	くも膜下出血	腎不全	気管、気管支及び肺の悪性新生物
受診率	20-29	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	アレルギー性鼻炎	月経障害及び閉経周辺期障害
	30-39	アレルギー性鼻炎	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	その他の急性上気道感染症
	40-49	アレルギー性鼻炎	屈折及び調節の障害	皮膚炎及び湿疹
	50-59	高血圧性疾患	脂質異常症	屈折及び調節の障害
	60-69	高血圧性疾患	脂質異常症	屈折及び調節の障害

は30歳以上で生活習慣病関連疾病に定義される疾病（大分類で消化器系、筋骨格及び結合組織疾患を除く）

■ 3.3 着目疾病の医療費

■ 3.3.1 生活習慣病医療費

- 生活習慣病の総医療費は、脂質異常症、高血圧性疾患、糖尿病と比較すると「高血圧性疾患」が高い。経年で見ると「高血圧性疾患」が令和5年度から横ばい傾向であるが、「脂質異常症」と「糖尿病」は増加傾向である。
- 生活習慣病受診者数の経年変化も総医療費と同様の傾向である。

▶ 生活習慣病総医療費（脂質異常症、高血圧性疾患、糖尿病）

■ 全体

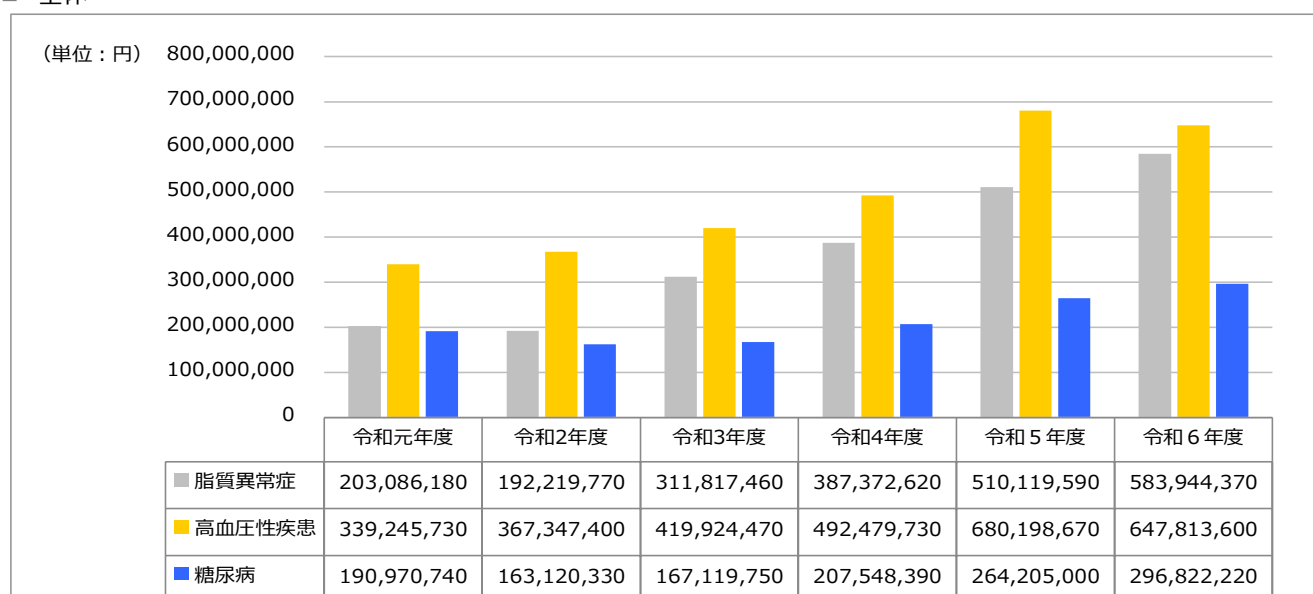


図 生活習慣病総医療費（脂質異常症、高血圧性疾患、糖尿病）（令和元年度～令和6年度）

▶ 生活習慣病受診者数（脂質異常症、高血圧性疾患、糖尿病）

■ 全体

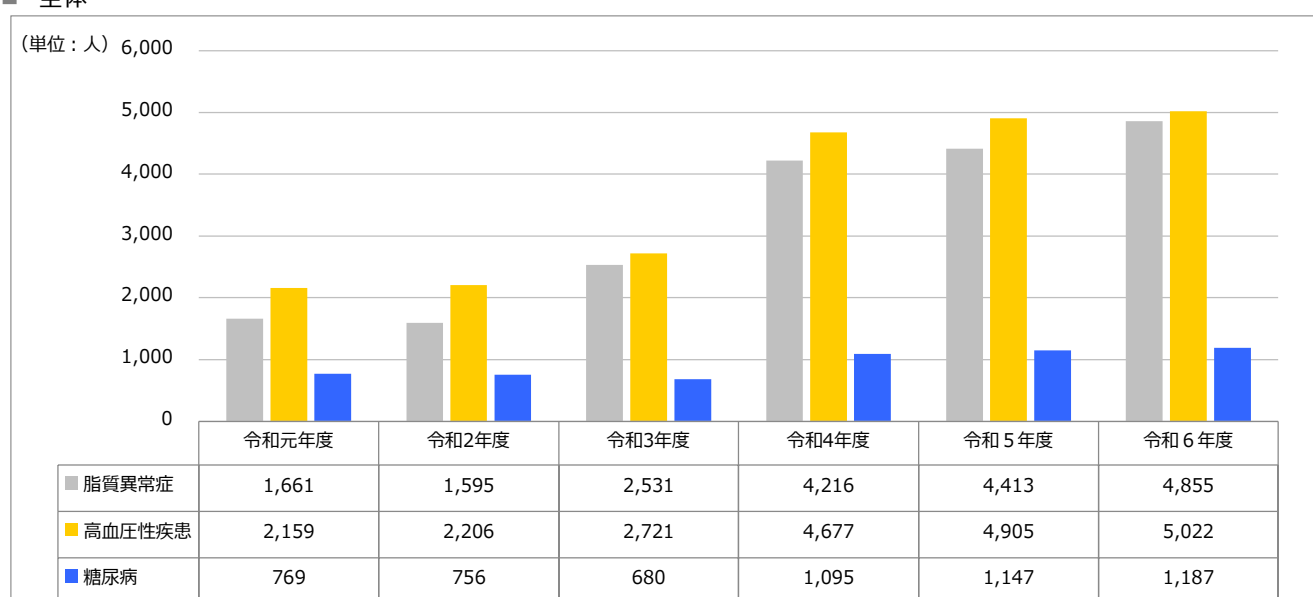


図 生活習慣病受診者数（脂質異常症、高血圧性疾患、糖尿病）（令和元年度～令和6年度）

3.3.2 人工透析医療費

- 令和4年度から令和6年度にかけて、組合員の人工透析導入者数はやや増加しており、総医療費も増加傾向にある。

人工透析導入者数 ※人工腎臓・腹膜灌流の診療行為コードを含むレセプトの保有者の人数。

組合員

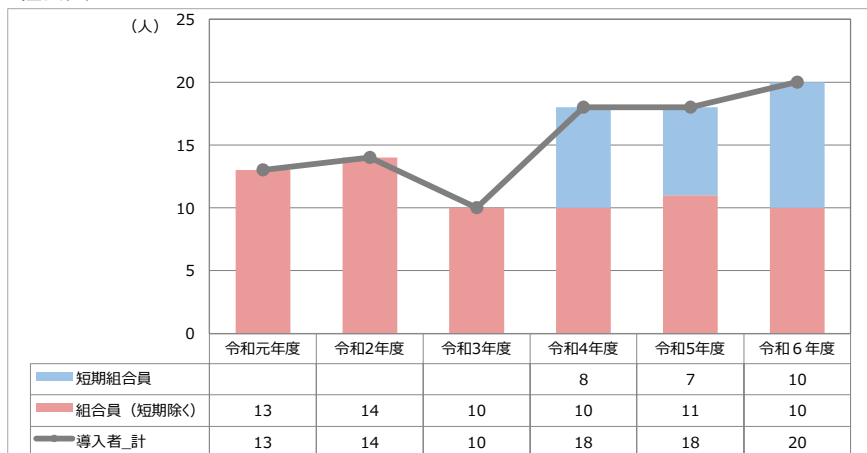


図 人工透析者数（組合員）（令和元年度～令和6年度）

人工透析導入者の総医療費 ※導入者の年間医療費（人工透析以外も含む）の合計。入院・外来・調剤を含み、歯科を除く。

組合員

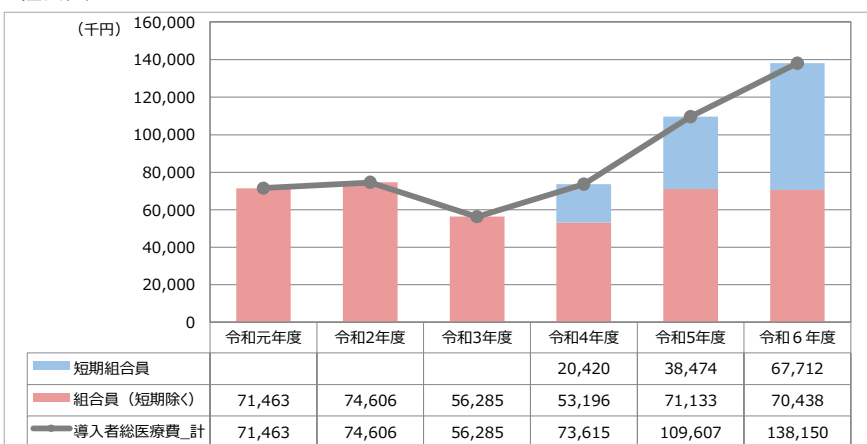


図 人工透析者の総医療費（組合員）（令和元年度～令和6年度）

参考 人工透析導入者数、導入者総医療費（被扶養者、任意継続組合員・被扶養者）

導入者数

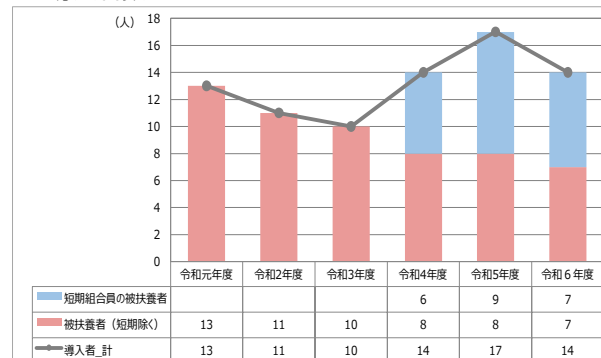


図 人工透析者数（被扶養者・任継）（令和元年度～令和6年度）

導入者の総医療費

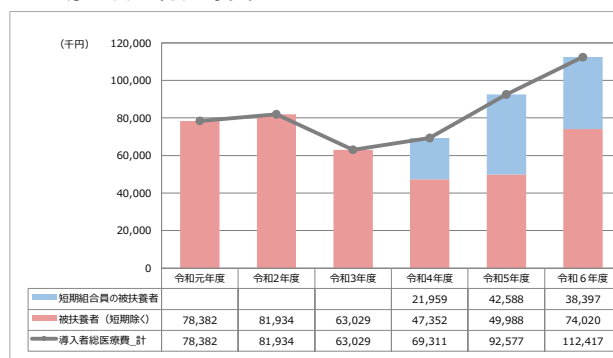


図 人工透析者の総医療費（被扶養者・任継）（令和元年度～令和6年度）

■ 3.3.3 悪性新生物医療費

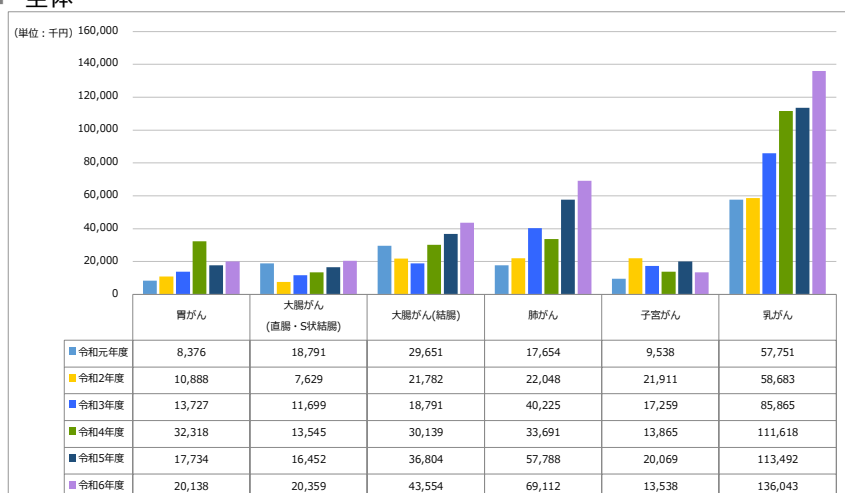
- 5種のがん※で比較すると、「乳がん」の総医療費が最も高く、レセプト件数も最も多い。総医療費、レセプト件数共に前年度から増加している。
- レセプト1件当たり医療費が高いのは「大腸がん(直腸・S状結腸)」と「肺がん」である。

※ 5種のがん：胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん

早期に対応することで有意にがん死亡率が下がるというエビデンスがあるもの。

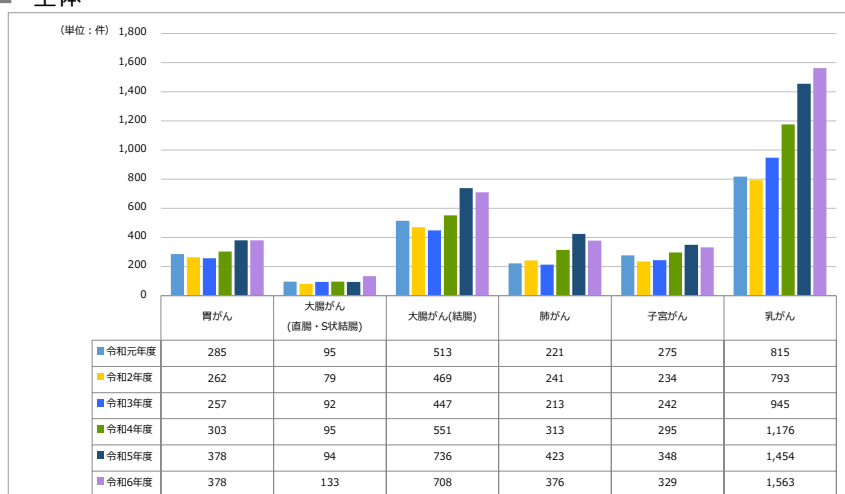
▶ 悪性新生物総医療費（5種のがん）（令和元年度～令和6年度）

■ 全体



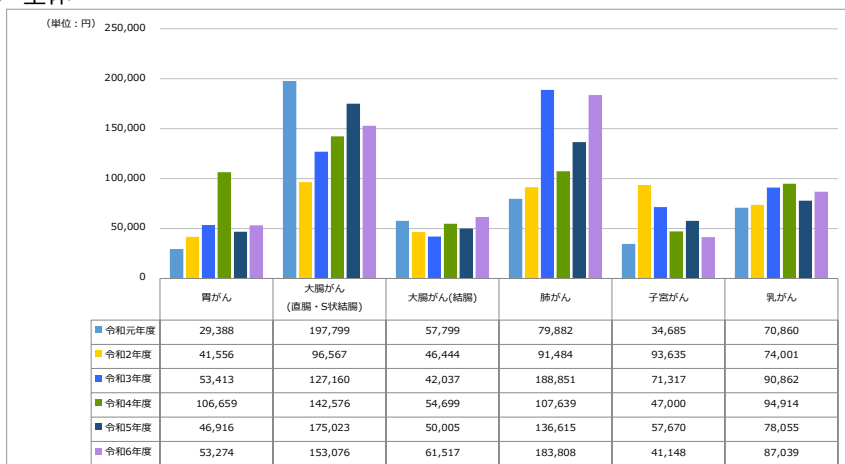
▶ 悪性新生物レセプト件数（5種のがん）（令和元年度～令和6年度）

■ 全体



▶ 悪性新生物レセプト1件当たり医療費（5種のがん）（令和元年度～令和6年度）

■ 全体



■ 3.3.4 精神疾患関連医療費

- 総医療費・レセプト件数ともに6年連続で「うつ病」が高く、増加傾向である。

▶ 精神疾患関連総医療費

- 全体

表 精神疾患総医療費（令和6年度）

（単位：円）

令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
その他の精神及び行動の障害	65,371,370	うつ病	81,933,950	統合失調症	70,116,350	うつ病	70,651,800	うつ病	88,663,790	うつ病	90,441,070
うつ病	64,757,260	その他の精神及び行動の障害	61,256,020	うつ病	68,093,460	統合失調症	64,798,490	統合失調症	58,816,410	その他の精神及び行動の障害	70,832,850
統合失調症	44,255,100	統合失調症	57,884,210	その他の精神及び行動の障害	55,109,370	その他の精神及び行動の障害	48,053,110	その他の精神及び行動の障害	53,026,930	統合失調症	69,046,450
神経性障害等	32,829,640	神経性障害等	35,113,470	神経性障害等	36,921,560	神経性障害等	39,782,420	神経性障害等	52,849,090	神経性障害等	53,180,380
精神・行動障害	5,192,380	血管性及び詳細不明の認知症	4,768,870	血管性及び詳細不明の認知症	4,997,720	精神・行動障害	4,750,750	精神・行動障害	5,930,940	知的障害（精神遅滞）	4,319,830
血管性及び詳細不明の認知症	4,858,500	精神・行動障害	4,114,960	精神・行動障害	3,494,520	知的障害（精神遅滞）	3,786,020	知的障害（精神遅滞）	2,926,560	精神・行動障害	1,143,370
知的障害（精神遅滞）	2,175,440	知的障害（精神遅滞）	2,865,810	知的障害（精神遅滞）	1,967,190	血管性及び詳細不明の認知症	272,640	血管性及び詳細不明の認知症	436,040	血管性及び詳細不明の認知症	575,500

▶ 精神疾患関連レセプト件数

- 全体

表 精神疾患レセプト件数（令和6年度）

（単位：件）

令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
うつ病	6,346	うつ病	6,495	うつ病	7,018	うつ病	7,944	うつ病	9,016	うつ病	9,241
神経性障害等	3,879	神経性障害等	3,940	神経性障害等	4,443	神経性障害等	5,153	神経性障害等	5,918	神経性障害等	6,083
その他の精神及び行動の障害	2,579	その他の精神及び行動の障害	2,667	その他の精神及び行動の障害	2,884	その他の精神及び行動の障害	3,106	その他の精神及び行動の障害	3,450	その他の精神及び行動の障害	3,584
統合失調症	974	統合失調症	1,036	統合失調症	1,068	統合失調症	1,312	統合失調症	1,556	統合失調症	1,384
精神・行動障害	222	精神・行動障害	193	知的障害（精神遅滞）	187	知的障害（精神遅滞）	240	知的障害（精神遅滞）	274	知的障害（精神遅滞）	292
知的障害（精神遅滞）	182	知的障害（精神遅滞）	181	精神・行動障害	112	精神・行動障害	128	精神・行動障害	184	精神・行動障害	120
血管性及び詳細不明の認知症	33	血管性及び詳細不明の認知症	24	血管性及び詳細不明の認知症	26	血管性及び詳細不明の認知症	23	血管性及び詳細不明の認知症	38	血管性及び詳細不明の認知症	26

■ 3.3.5 高額医療費

- 上位約5.8%の人が、総医療費の約半分を占めている。
- 年間総医療費が50万円以上の受療者の保有疾病は「高血圧」「糖尿病」「脂質異常症」「悪性新生物」「うつ病」が多い。

▶ 高額医療費受療者の総医療費割合（入院・外来・調剤）

■ 総医療費の割合（令和6年度）

年間総医療費額	人数 (人)	人数割合 (%)	総医療費 (万円)	総医療費割合 (%)
1,000万円以上	36	0.1	643,221	7.3
500万円以上	111	0.2	770,295	8.8
200万円以上	394	0.9	1,194,467	13.6
100万円以上	695	1.5	974,833	11.1
50万円以上	1,430	3.1	981,462	11.2
50万円未満	43,347	94.2	4,199,026	47.9
計	46,013	100.0	8,763,305	100.0
医療費なし	4,043	—	—	—
計	50,056	—	—	—

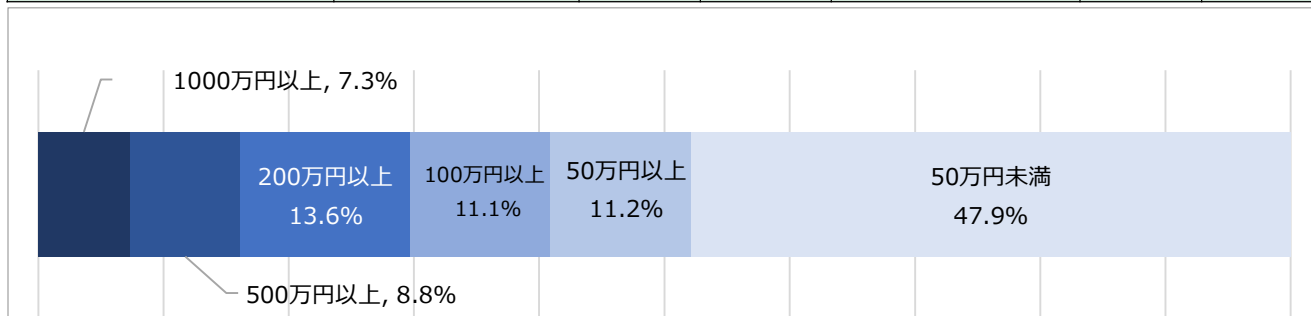


図 総医療費割合（令和6年度）

▶ 高額医療費受療者の疾病保有状況

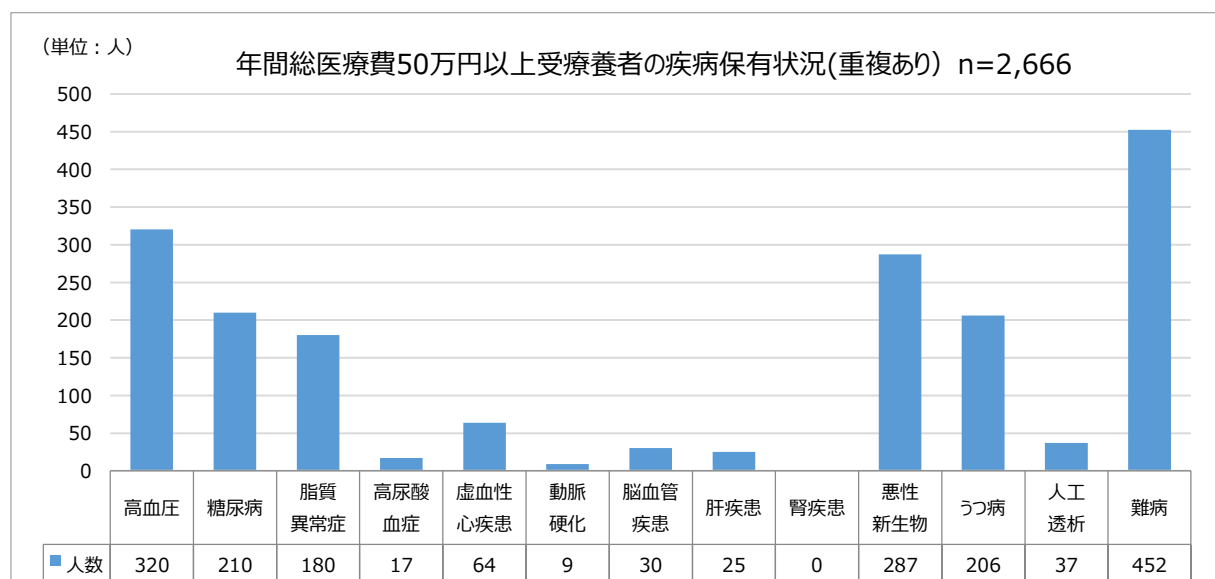


図 高額医療費受療者の着目疾病保有状況（全体）（令和6年度）

3.3.6 後発医薬品の使用状況

- 後発医薬品使用割合は、令和7年3月診療分において89.5%であり、国の定める目標値「令和11年度末までに80%」を前倒して達成している。

※厚生労働省「保険者別の後発医薬品の使用割合」の使用割合（数量シェア）を使用

▶ 後発医薬品の使用割合

■ 全体

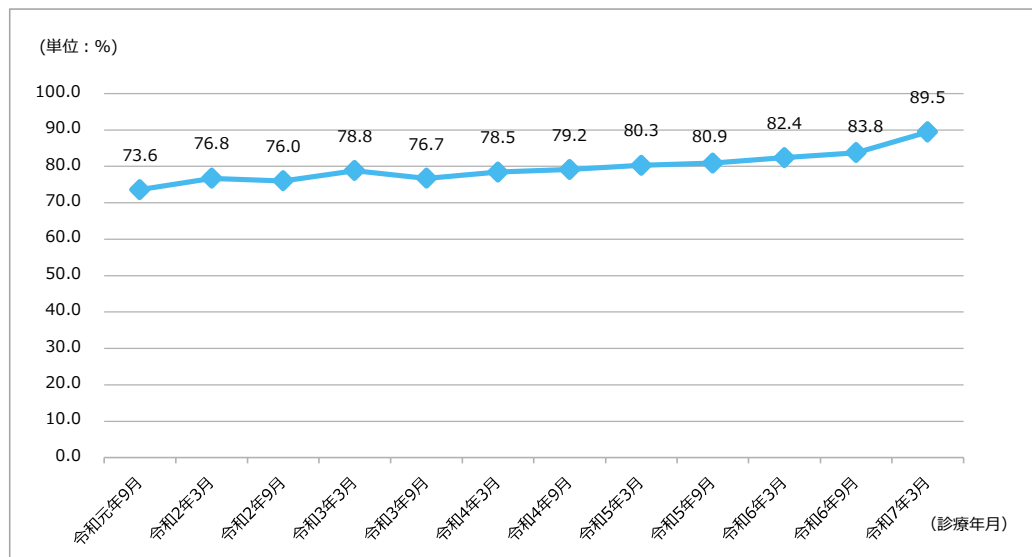


図 後発医薬品の使用率（数量ベース）の推移

※厚生労働省「保険者別の後発医薬品の使用割合（各診療年 months）」の使用割合（数量シェア）を使用

▶ 全国市町村職員共済組合との比較

■ 全体

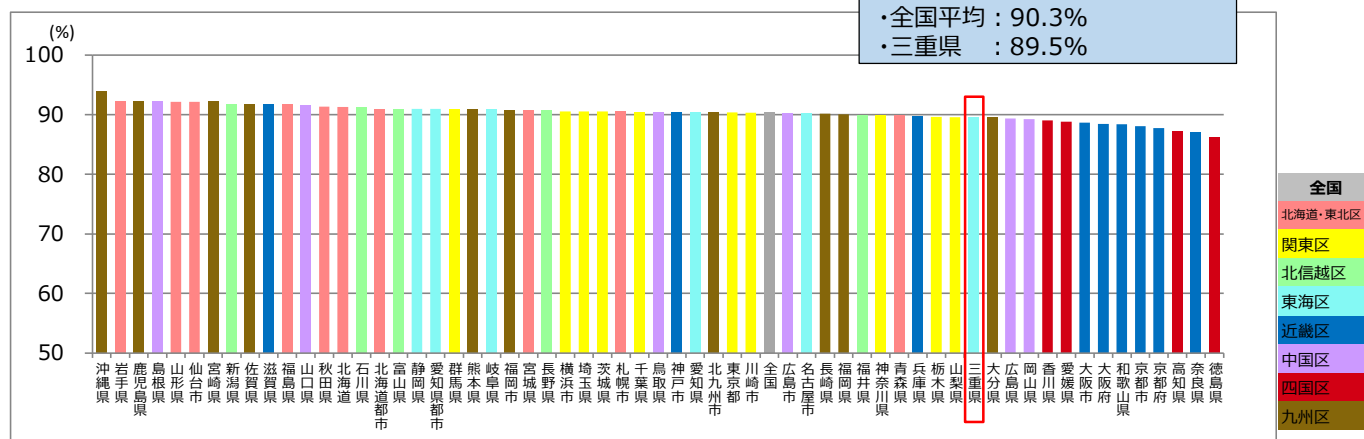


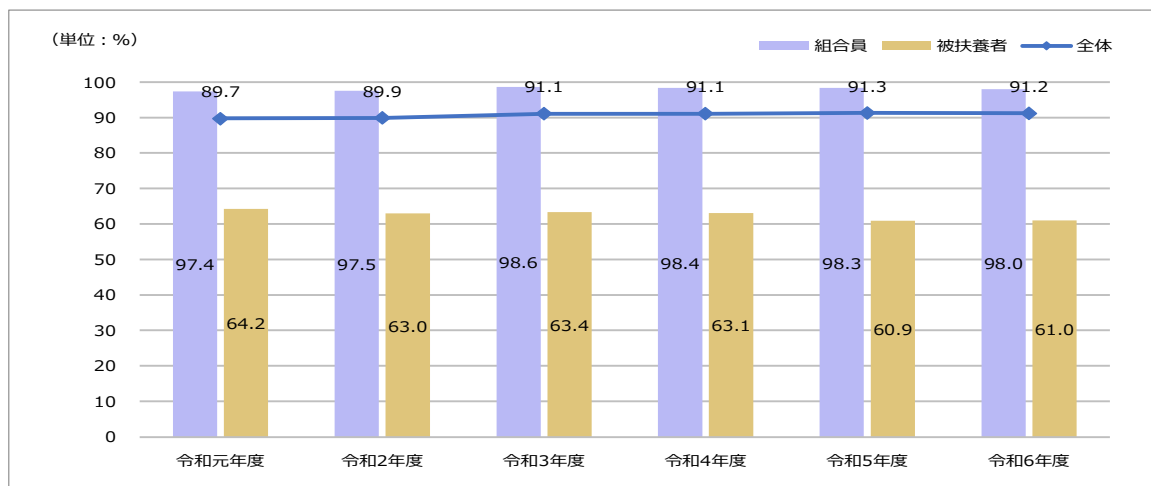
図 全国市町村職員共済組合との比較（令和7年3月診療分）

■ 3.4 特定健康診査・特定保健指導

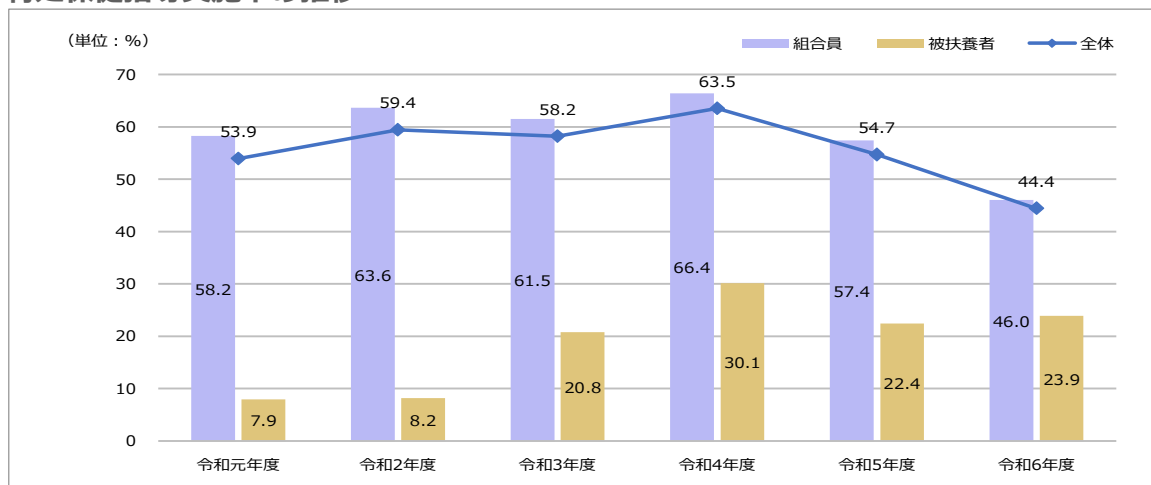
■ 3.4.1 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

- 令和6年度の特定健康診査受診率は、全体91.2%、組合員98.0%、被扶養者61.0%であり、令和元年度以降、高い水準を保っている。
- 特定保健指導実施率は、全体44.4%、組合員46.0%、被扶養者22.9%であり、令和元年度と比較すると全体9.5ポイント低下、組合員12.2ポイント低下、被扶養者16.0ポイント上昇した。令和5年度以降、組合員の特定保健指導実施率が大きく低下している。

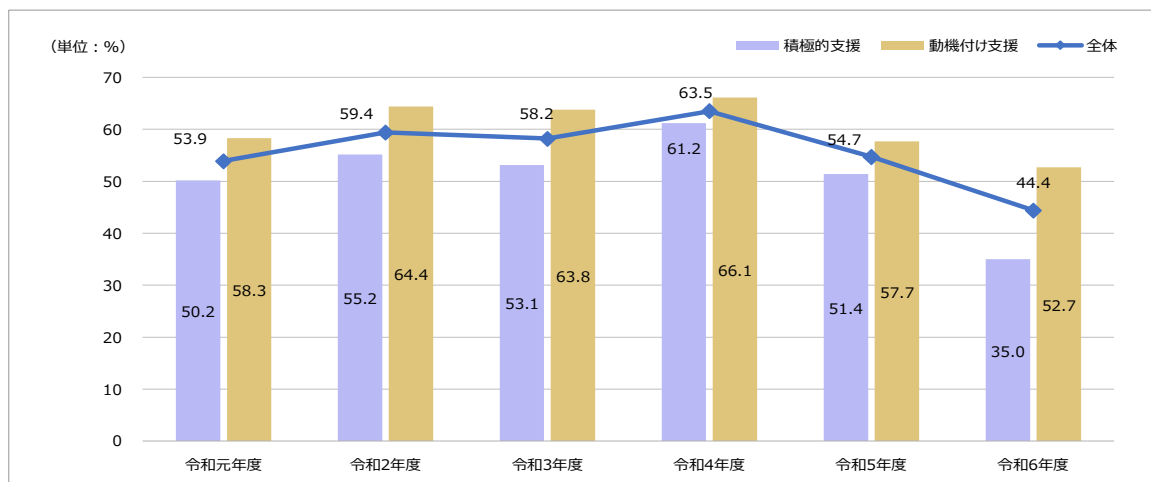
▶ 特定健康診査受診率の推移



▶ 特定保健指導実施率の推移



▶ 積極的支援・動機付け支援実施率の推移

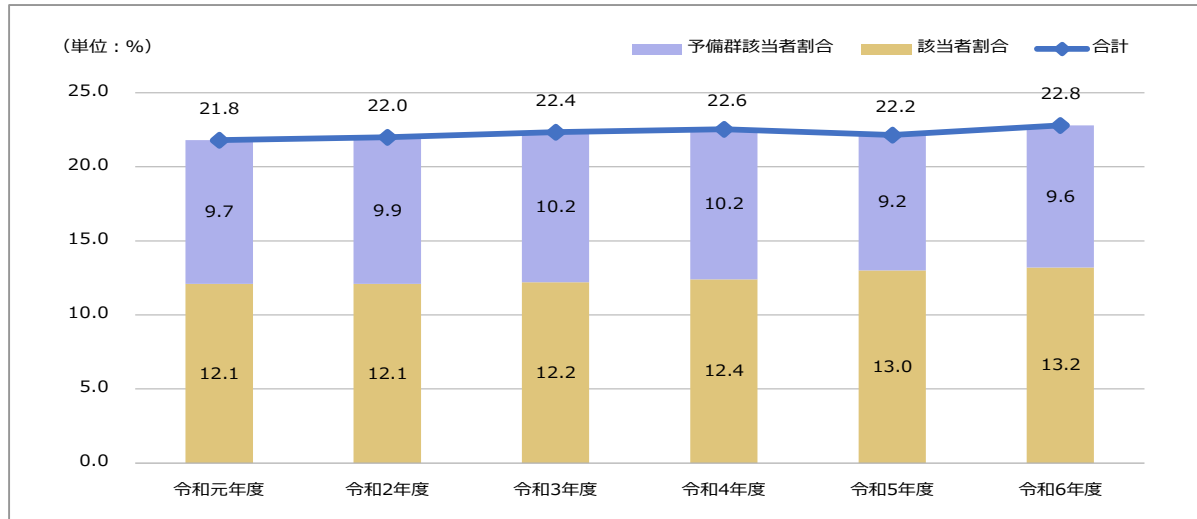


■ 3.4.2 内臓脂肪症候群該当者・予備群者の状況

- 内臓脂肪症候群該当者割合は、令和6年度は22.8%（該当者9.6%＋予備群13.2%）であり、経年で見るとほぼ横ばいである。

▶ 内臓脂肪症候群該当者・予備群者割合の推移

- 全体（令和元年度～令和6年度）

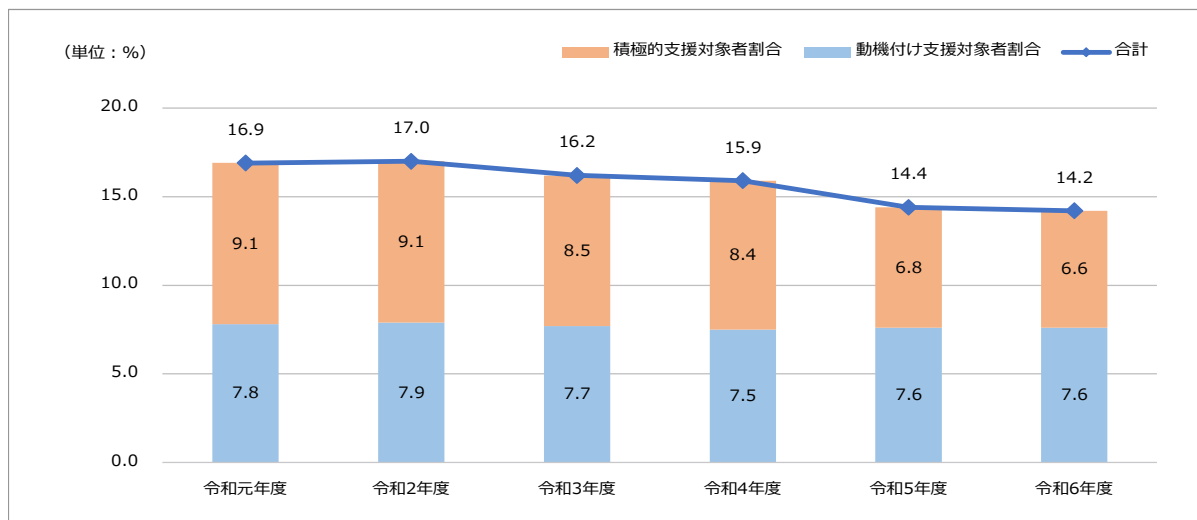


■ 3.4.3 特定保健指導対象者の状況

- 特定保健指導対象者の割合は、令和6年度14.2%（積極的6.6%＋動機付け7.6%）であり、令和元年度から低下傾向にある。

▶ 特定保健指導対象者割合の推移

- 全体（令和元年度～令和6年度）



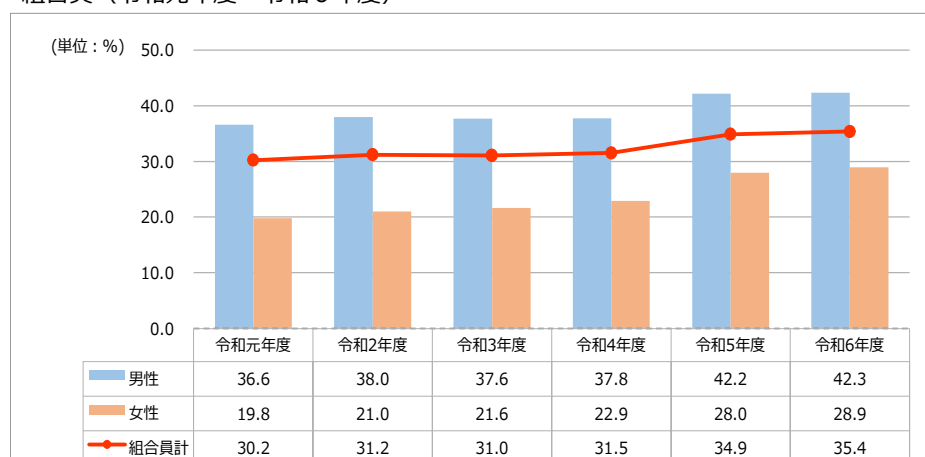
■ 3.5 健診結果の状況

■ 3.5.1 健康リスク保有状況（組合員）

- 脂質リスク、肥満リスク、肝機能リスクの保有率は低下傾向にある。血圧リスク、血糖リスクの保有割合は上昇傾向。
- 血圧リスク、脂質リスク、肥満リスク、肝機能リスクは、男性の保有率が大幅に高い。

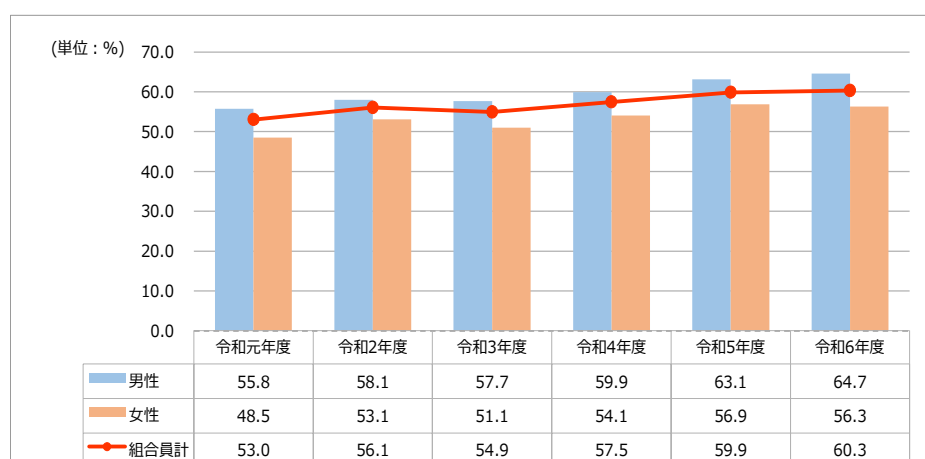
▶ 血圧リスク保有率

■ 組合員（令和元年度～令和6年度）



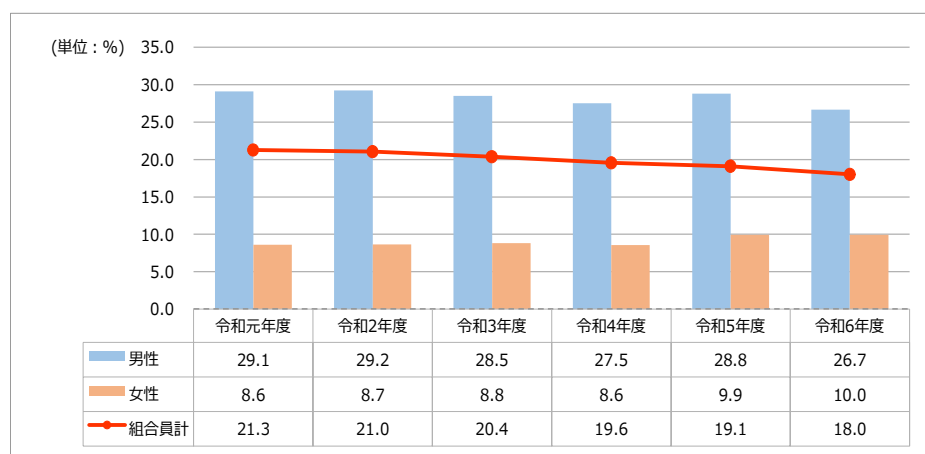
▶ 血糖リスク保有率

■ 組合員（令和元年度～令和6年度）



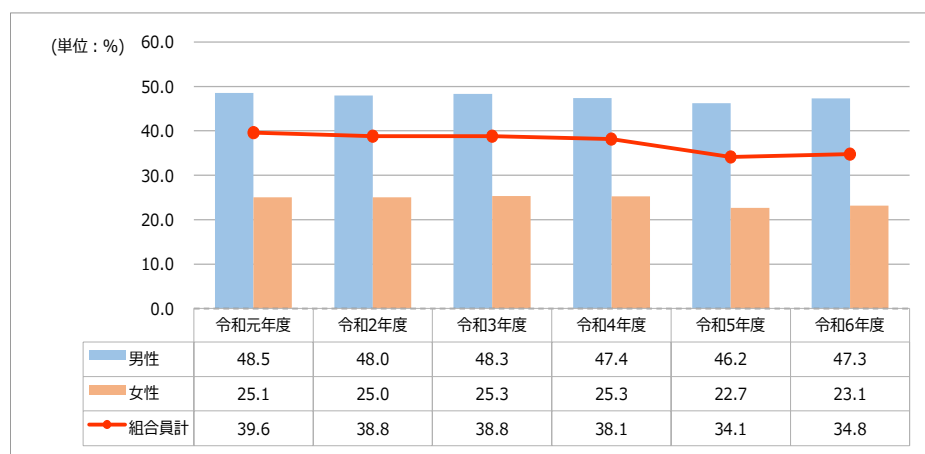
▶ 脂質リスク保有率

■ 組合員（令和元年度～令和6年度）



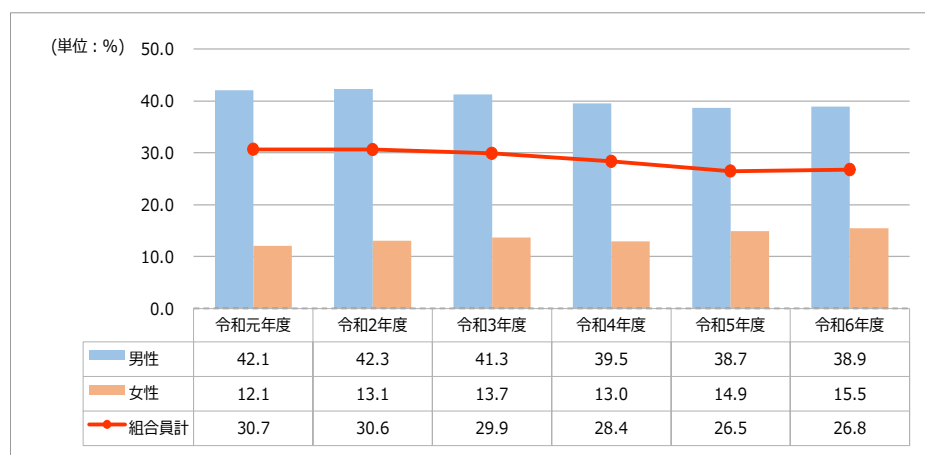
▶ 肥満リスク保有率

■ 組合員（令和元年度～令和6年度）



▶ 肝機能リスク保有率

■ 組合員（令和元年度～令和6年度）

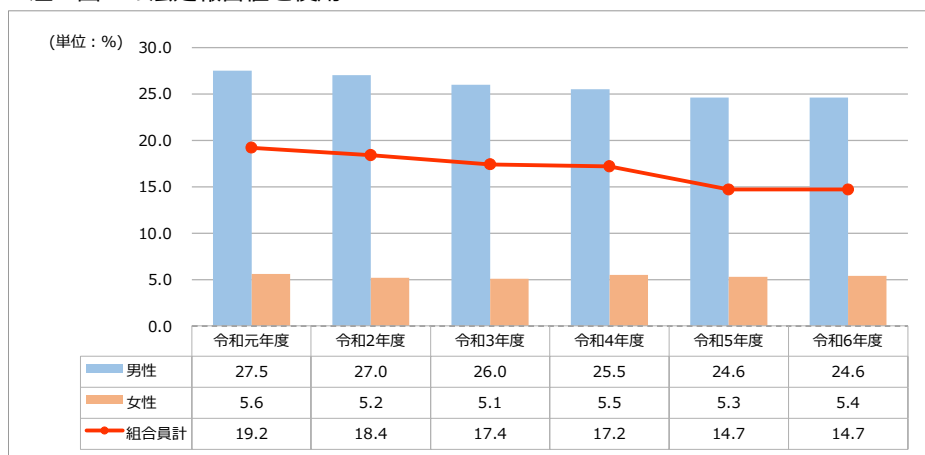


■ 3.5.2 生活習慣保有状況（組合員）

- 喫煙習慣：男性の喫煙率は24.6%。令和元年度から低下傾向である。
- 運動習慣：適切な習慣の保有率は29.5%。男女共に改善傾向にある。
- 食事習慣：適切な習慣の保有率は55.0%。令和6年度は、男女共に前年度より改善。
- 飲酒習慣：適切な習慣の保有率は89.9%。令和6年度は女性の保有率が前年度比低下（※）。
※令和6年度から基準変更の影響も想定される
- 睡眠習慣：適切な習慣の保有率は58.5%。令和6年度は、男女共に前年度より改善。

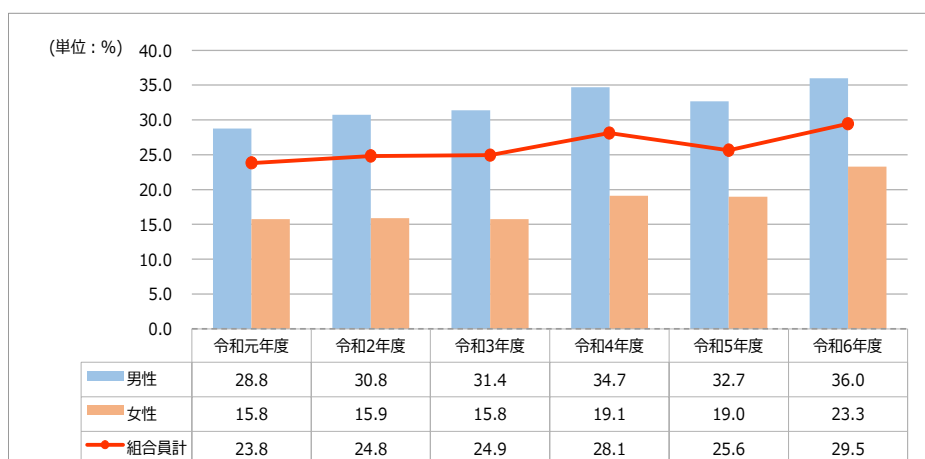
▶ 喫煙率

- 現在、たばこを習慣的に吸っている者の割合（組合員）（令和元年度～令和6年度） ※低い方がよい
- 注：国への法定報告値を使用



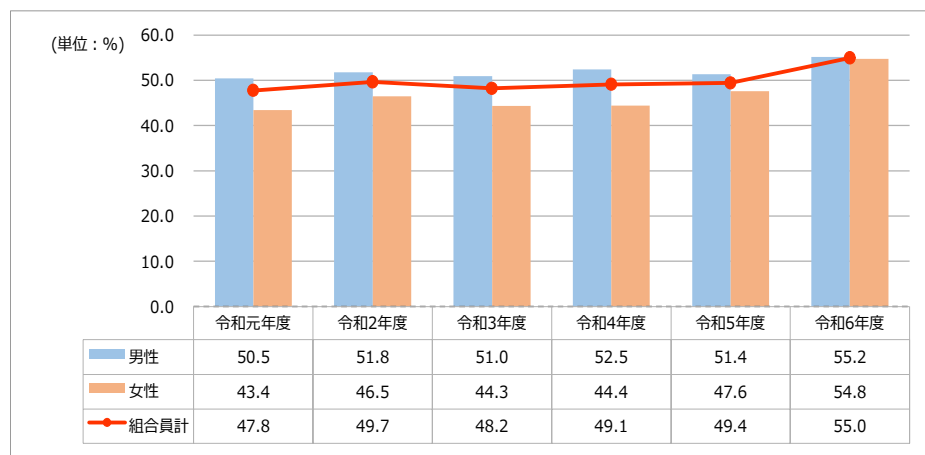
▶ 運動習慣

- 適切な運動習慣を有する者の割合（組合員）（令和元年度～令和6年度） ※高い方がよい



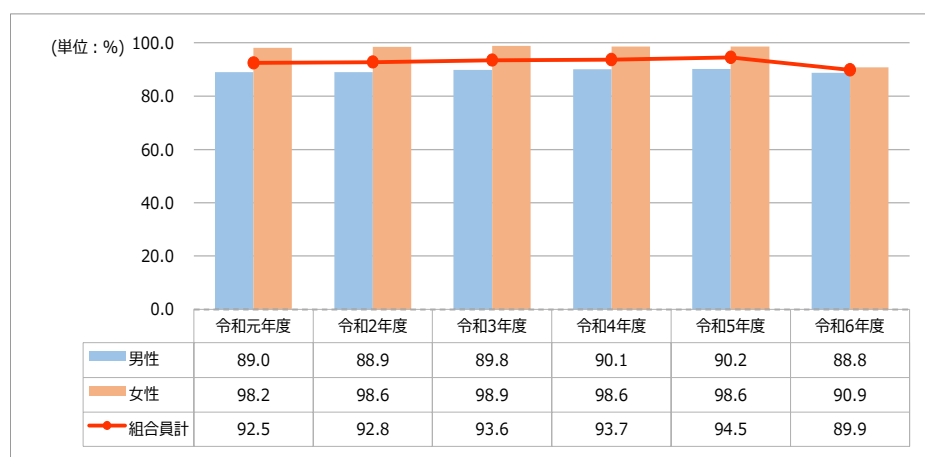
▶ 食事習慣

- 適切な食事習慣を有する者の割合（組合員）（令和元年度～令和6年度） ※高い方がよい



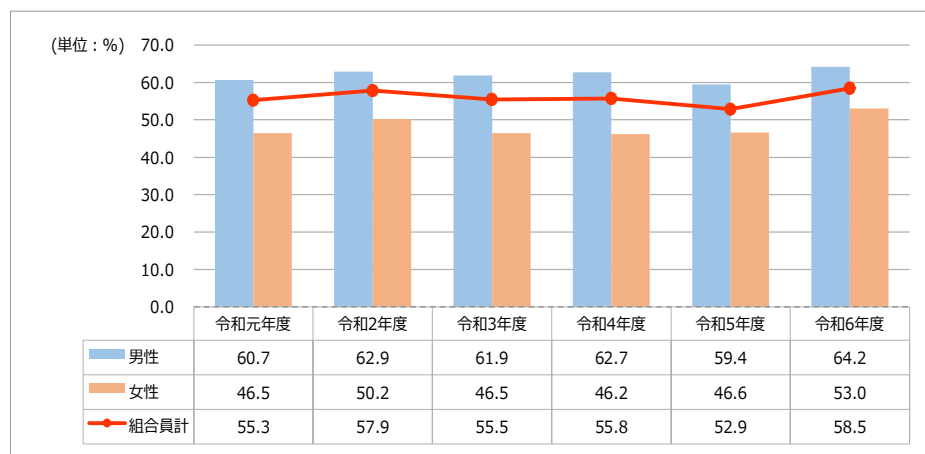
▶ 飲酒習慣

- 適切な飲酒習慣を有する者の割合（組合員）（令和元年度～令和6年度） ※高い方がよい
※令和6年度から基準変更



▶ 睡眠習慣

- 睡眠で休養が十分とれている者の割合（組合員）（令和元年度～令和6年度） ※高い方がよい



▶ リスク等判定要件

※厚生労働省 健康スコアリングレポートに準ずる

表 健康リスク判定要件

	判定要件	参考 厚生労働省 標準的な健診・保健指導プログラム【令和6年度版】			
		健診項目	単位	保健指導判定値	受診勧奨判定値
血圧 リスク	収縮期130以上、または 拡張期85以上	収縮期血圧	mmHg	130以上	140以上
		拡張期血圧	mmHg	85以上	90以上
血糖 リスク	空腹時血糖100以上、 または 随時血糖100以上、 または HbA1c5.6以上	空腹時血糖	mg/dl	100以上	126以上
		HbA1c	%	5.6以上	6.5以上
		随時血糖	mg/dl	100以上	126以上
		空腹時中性脂肪	mg/dl	150以上	300以上
脂質 リスク	空腹時中性脂肪150mg/dl以上、 または 随時中性脂肪175mg/dl以上、 または HDLコレステロール40mg/dl未満	随時中性脂肪	mg/dl	175以上	300以上
		HDL-C	mg/dl	40未満	—
		LDL-C	mg/dl	120以上	140以上
		BMI	—	25以上	—
肥満 リスク	BMI25以上、または 腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上	腹囲	cm	男性85以上 女性90以上	—
		AST	U/L	31以上	51以上
肝機能 リスク	AST 31以上、または ALT 31以上、または γ-GT 51以上	ALT	U/L	31以上	51以上
		γ-GT	U/L	51以上	101以上

表 生活習慣保有状況判定要件（特定健康診査の問診により判定）

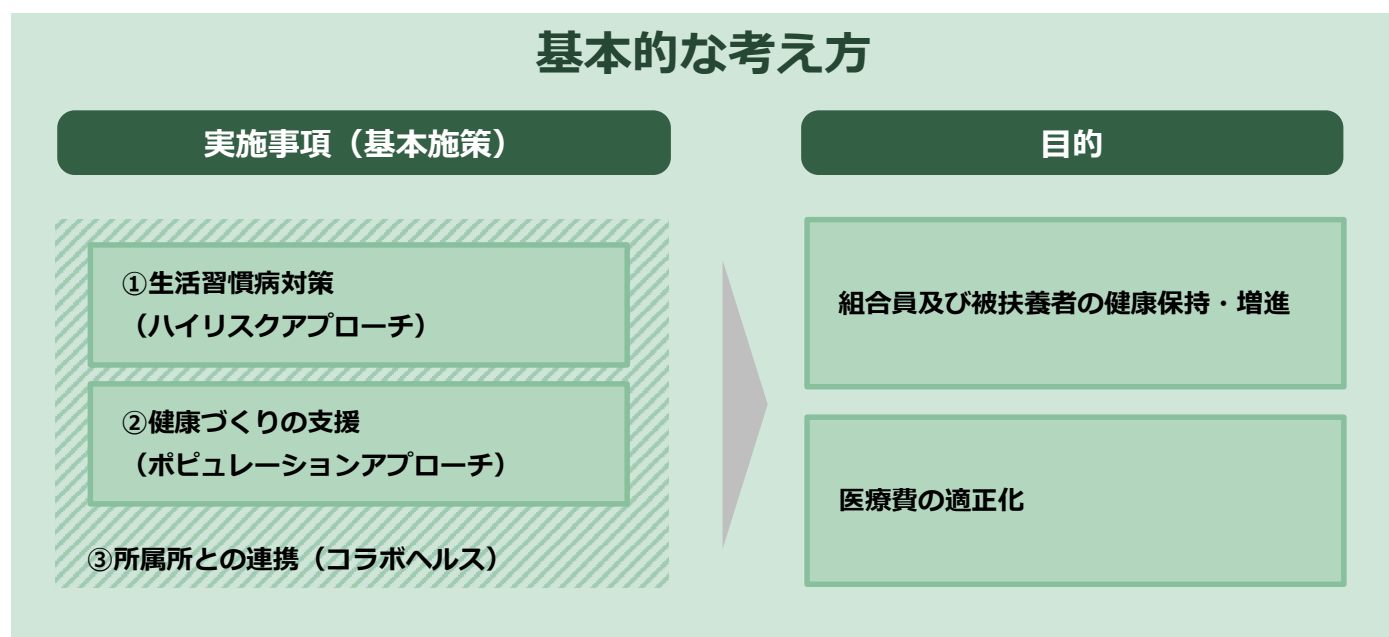
	要件	詳細																			
喫煙率	現在、たばこを習慣的に 吸っている者の割合 条件1：最近1か月間吸っている 条件2：6か月以上吸っている、 又は合計100本以上吸っている	「現在、たばこを習慣的に吸っていますか」 1：はい（条件1，2を満たす） → 喫煙者 2：以前は吸っていたが、最近1ヶ月間は吸っていない、3：いいえ →非喫煙者																			
運動習慣	適切な運動習慣を有する者	適切な運動習慣とは 以下3項目のうち2つ以上該当 ・1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施 ・歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施 ・ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い																			
食事習慣	適切な食事習慣を有する者	適切な食事習慣とは 以下4項目のうち3つ以上該当 ・早食いをしない（人と比べて食べる速度が普通または遅い） ・就寝前の2時間以内に夕食をとることが週3回未満 ・朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取しない ・朝食を抜くことが週3回未満																			
飲酒習慣	適切な飲酒習慣を有する者 ＝多量飲酒群に該当しない者 ※令和6年度から基準変更	多量飲酒群：飲酒頻度・飲酒量の組み合わせにより判定 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">飲酒頻度</th><th colspan="2">飲酒量</th></tr> <tr> <th>男性</th><th>女性</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎日</td><td>2～3合未満 3～5合未満 5合以上</td><td>1～2合未満 2～3合未満 3～5合未満</td></tr> <tr> <td>週5～6日</td><td>3～5合未満 5合以上</td><td>5合以上</td></tr> <tr> <td>週3～4日</td><td>3～5合未満 5合以上</td><td>5合以上</td></tr> <tr> <td>週1～2日</td><td rowspan="2">5合以上</td><td>3～5合未満 5合以上</td></tr> <tr> <td>月1～3日</td><td>5合以上</td></tr> </tbody> </table>	飲酒頻度	飲酒量		男性	女性	毎日	2～3合未満 3～5合未満 5合以上	1～2合未満 2～3合未満 3～5合未満	週5～6日	3～5合未満 5合以上	5合以上	週3～4日	3～5合未満 5合以上	5合以上	週1～2日	5合以上	3～5合未満 5合以上	月1～3日	5合以上
飲酒頻度	飲酒量																				
	男性	女性																			
毎日	2～3合未満 3～5合未満 5合以上	1～2合未満 2～3合未満 3～5合未満																			
週5～6日	3～5合未満 5合以上	5合以上																			
週3～4日	3～5合未満 5合以上	5合以上																			
週1～2日	5合以上	3～5合未満 5合以上																			
月1～3日		5合以上																			
睡眠習慣	睡眠で休養が十分取れている 者	特定健康診査の問診「睡眠で休養が十分にとれている」について 「はい」と回答した者																			

4 第3期データヘルス計画の取組

4.1 基本的な考え方

医療費・健診結果等のデータ分析の結果から明らかとなった健康課題を解決するため、第3期データヘルス計画では『生活習慣病対策（予防・早期発見、早期治療・重症化予防）』、『組合員及び被扶養者の健康づくりの支援』を行い「組合員及び被扶養者の健康保持・増進」と「医療費の適正化」を図る。また、所属所との密な連携・協働（コラボヘルス）を推進することで、効果的・効率的な事業実施を図る。

なお、第3期データヘルス計画で実施する保健事業は、第2期データヘルス計画で実施した保健事業を基本的に踏襲するが、短期組合員加入などの共済組合の状況の変化を踏まえ、一部の見直しを行った。



基本施策	基本的な考え方	主な保健事業
生活習慣病対策 (ハイリスク アプローチ)	予防・早期発見 生活習慣病の予防・早期発見のため、健診受診による発症予防、健診受診の勧奨を実施する。	・ 特定健康診査 ・ 人間ドック ・ がん検診、歯科健診 等
	早期治療・重症化予防 生活習慣病の早期治療・重症化予防のため、リスク保有者への早期受診、罹患者に対する定期受診を勧奨する事業を実施する。	・ 生活習慣病重症化予防 ・ 特定保健指導 ・ 若年者保健指導 等
健康づくりの支援 (ポピュレーション アプローチ)	加入者全員に働きかけをして、健康の保持・増進を図り、健康状況の悪化を防ぐ。	・ 広報、ホームページ ・ 医療費分析・統計 所属所別健康度レポート 等
所属所との連携 (コラボヘルス)	共済組合と所属所の役割を明確にし、所属所と連携し、保健事業を実施する。	・ 人事・健康管理担当者等研修会 等

■ 4.2 保健事業計画（事業概要・目標等）

第3期データヘルス計画において実施する個別保健事業の概要・目標等を次に示す。

NO	概要				指標		目標		
	分類	事業名	事業の目的及び概要	対象			令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	健康診断、検診助成等	人間ドック	人間ドックを受診した組合員・被扶養者に対して、費用の一部を助成。 ・1泊2日コース：組合員20,000円、被扶養者15,000円 ・1日コース：組合員20,000円、被扶養者15,000円 ・巡回コース：2,700円～7,000円	・1泊2日コース：満40歳以上の組合員及び被扶養者 ・1日コース：満35歳※以上の組合員及び被扶養者（受診枠の範囲内で35歳※未満の組合員も受け入れる。） ※令和7年度は36歳、令和8年度以降は37歳 ・巡回コース：組合員及び被扶養者（年齢制限なし）	アウトプット	受診件数	25,000件	25,000件	25,000件
					アウトカム	特定健康診査受診率	※特定健康診査の欄参照		
2		共同巡回健診	・40歳以上75歳までの被扶養者と任意継続組合員の女性を対象に集団健診を実施。（三重県内の会場で都合の良い開催日に受診） ・特定健康診査の検査項目に心電図検査・眼底検査・大腸がん検査・胸部レントゲン検査を追加。基本の検査は自己負担なし。	40歳以上75歳未満の被扶養者と任意継続組合員の女性	アウトプット	受診件数	500件	500件	500件
					アウトカム	被扶養者の特定健康診査受診率	※特定健康診査の欄参照		
3		脳ドック	脳ドックを受診した組合員・被扶養者に対して、費用の一部を助成。 ・助成額：15,000円	満40歳以上の組合員及び被扶養者	アウトプット	受診件数	1,500件	1,500件	1,500件
					アウトカム	—	—	—	—
4		胃がん検診助成	市町の行う健診及び一般病院での検診が、助成の対象。 ・助成額：1人1回当たり上限3,000円	組合員及び被扶養者	アウトプット	受診件数	300件	300件	300件
					アウトカム	悪性新生物に係る医療費等を確認	—	—	—
5		婦人がん検診助成	市町の行う健診及び一般病院での検診が、助成の対象。 ・助成額：1人1回当たり上限3,000円	組合員及び被扶養者	アウトプット	受診件数	12,000件	12,000件	12,000件
					アウトカム	悪性新生物に係る医療費等を確認	—	—	—
6		前立腺がん検診助成	市町の行う健診及び一般病院での検診が、助成の対象。 ・助成額：1人1回当たり上限1,500円	組合員及び被扶養者	アウトプット	受診件数	2,700件	2,700件	2,700件
					アウトカム	悪性新生物に係る医療費等を確認	—	—	—
7	予防、支援等	特定健康診査	・人間ドック、事業主健診を受診した場合、健診結果の提供をもって特定健康診査を受けたものとみなす。 ※名張市在住者については、住民健診と同時実施。	40歳以上75歳未満の組合員及び被扶養者 ※医療費増高対策として40歳未満も対象とする	アウトプット	特定健康診査受診率	全体 91.9% 組合員 98.0% 被扶養者 63.0%	全体 92.0% 組合員 98.1% 被扶養者 63.2%	全体 92.2% 組合員 98.2% 被扶養者 63.4%
					アウトカム	特定保健指導対象者割合、内臓脂肪症候群該当者割合を確認	—	—	—
8		特定保健指導	特定健康診査の結果をもとに、個人のレベルにあった保健指導を実施。（動機付け支援、積極的支援）	40歳以上75歳未満の組合員及び被扶養者	アウトプット	特定保健指導実施率	全体 60.0% 組合員 61.8% 被扶養者 30.0%	全体 61.0% 組合員 62.9% 被扶養者 30.2%	全体 62.0% 組合員 63.9% 被扶養者 30.4%
					アウトカム	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	—	—	—

NO		目標			体制・方法（ストラクチャー・プロセス）	
		令和9年度	令和10年度	令和11年度	ストラクチャー	プロセス
1	アウトプット	25,000件	25,000件	25,000件	・組合員:所属所経由で受診の案内を実施。 ・被扶養者:組合員経由で受診案内を実施。 ・任意継続組合員:次年度掛金額案内時に受診案内を実施。	・共済組合のサイトにより情報提供。 ・組合員・被扶養者については所属所経由で募集期間中に申し込む。 ・任意継続組合員については共済組合に直接申し込む。
	アウトカム	※特定健康診査の欄参照				
2	アウトプット	500件	500件	500件	—	・健診の案内文書を対象者に郵送している。 ・受診者本人が申込む。
	アウトカム	※特定健康診査の欄参照				
3	アウトプット	1,500件	1,500件	1,500件	※人間ドックと同様	※人間ドックと同様
	アウトカム	—	—	—		
4	アウトプット	300件	300件	300件	—	・市町が行う検診及び一般の医療機関での検診を受診した場合、受診者の請求により費用を助成。
	アウトカム	—	—	—		
5	アウトプット	12,000件	12,000件	12,000件	—	※胃がん検診助成と同様
	アウトカム	—	—	—		
6	アウトプット	2,700件	2,700件	2,700件	—	※胃がん検診助成と同様
	アウトカム	—	—	—		
7	アウトプット	全体 92.4% 組合員 98.3% 被扶養者 63.6%	全体 92.6% 組合員 98.4% 被扶養者 63.8%	全体 92.7% 組合員 98.5% 被扶養者 64.0%	・組合員:事業主健診、人間ドック・節目健診を受診。 ・被扶養者及び任意継続組合員:人間ドック・共同巡回健診、集合契約の健診機関にて受診。また、勤務先の事業主健診データの提供を求める。	・被扶養者:受診券は組合員経由で送付。
	アウトカム	—	—	—		
8	アウトプット	全体 63.0% 組合員 64.9% 被扶養者 30.6%	全体 64.0% 組合員 66.0% 被扶養者 30.8%	全体 65.0% 組合員 67.0% 被扶養者 31.0%	・組合員:対象者リストを所属所に送付し、日程調整と会場設定を依頼。共済組合から個人宛の通知を送付。 ・被扶養者:人間ドック受診者には受診当日に案内。集合契約により全国の健診機関での受診が可能。	・被扶養者については、利用券、受診案内を組合員経由で送付。 ・未受診者に対し、利用勧奨通知を自宅に直送。
	アウトカム	—	—	—		

No	概要				指標		目標		
	分類	事業名	事業の目的及び概要	対象			令和6年度	令和7年度	令和8年度
9	予防、支援等	若年者保健指導	・以下該当者に動機付け支援の内容で特定保健指導を実施。 ＜該当者要件＞ ・33、36、39歳の保健指導レベル該当者 ・上記以外の年齢の着目項目が基準値以上の者 ※着目項目は年度ごとに血圧、血糖、脂質を判定。	30歳以上40歳未満の組合員	アウトプット	指導対象者数	250人	250人	250人
					アウトカム	通知対象者の保健指導実施率	60%	60%	60%
10		電話・WEB健康相談	・24時間電話健康相談 ・メンタルヘルスカウンセリング ・面談カウンセリング ・オンライン面談カウンセリング ・電話継続カウンセリング ・Webカウンセリング	組合員、配偶者及び被扶養者	アウトプット	相談件数	1,500件	1,500件	1,500件
					アウトカム	—	—	—	—
11		メンタルヘルスサポート	メンタルヘルスカウンセリング（無料）	組合員、配偶者及び被扶養者	アウトプット	相談件数	400件	400件	400件
					アウトカム	—	—	—	—
12		介護支援助成	組合員が家族のために介護休暇を取得することにより、給料の支給を受けない場合の経済的な助成を行う。	組合員	アウトプット	助成件数	—	—	—
					アウトカム	—	—	—	—
13		ファミリー歯科健診	・共済組合が指定した会場で集団健診を実施。 ・歯のクリーニングとフッ素塗布及びブラッシング指導などを含む。 （他の健康保険組合と共同で実施） 無料	組合員及び被扶養者	アウトプット	受診件数	—	—	—
					アウトカム	要治療者の医療機関受診率	—	—	—
14		県歯科医師会による歯科健診	・三重県の歯科医師会と連携して、歯科医院での健診を実施。 ・年1回まで健診費用を全額助成。	組合員及び被扶養者	アウトプット	受診件数	—	—	—
					アウトカム	—	—	—	—
15		生活習慣病重症化予防	・特定健康診査の検査値とレセプトの治療状況から生活習慣病ハイリスクの対象者を特定して以下の事業を段階的に実施。 ・高血圧症、糖尿病、脂質異常症の受診歴がない組合員に対して、医療機関の受診を促すための勧奨通知とアンケートを送付。	組合員	アウトプット	通知対象者数	—	—	—
					アウトカム	通知対象者の医療機関受診率	20%	20%	20%

NO		目標			体制・方法（ストラクチャー・プロセス）	
		令和9年度	令和10年度	令和11年度	ストラクチャー	プロセス
9	アウトプット	250人	250人	250人	・特定保健指導の実施業者に若年者指導を委託。 ・特定保健指導結果と合わせて、若年者指導の結果も受領。	・基準該当者に動機付け支援同等の内容で指導を実施。 ・所属所に指導の依頼文書と対象者情報を送付し、健康管理担当等に実施の協力を依頼。 ・勤務時間内の面談及び職務専念義務免除の協力を得ている。
	アウトカム	60%	60%	60%		
10	アウトプット	1,500件	1,500件	1,500件	—	—
	アウトカム	—	—	—		
11	アウトプット	400件	400件	400件	—	—
	アウトカム	—	—	—		
12	アウトプット	—	—	—	—	—
	アウトカム	—	—	—		
13	アウトプット	—	—	—	・他の健保組合との共同実施。	・共済組合が指定した会場で集団健診を実施。
	アウトカム	—	—	—		
14	アウトプット	—	—	—	・三重県歯科医師会所属の歯科医院にて受診。	—
	アウトカム	—	—	—		
15	アウトプット	—	—	—	・受診勧奨の対象者抽出、通知作成・発送、受診確認について、業者に外部委託。 ・受診勧奨通知は所属所経由で送付。	・特定保健指導対象者は当事業の対象外とする。 ・保健師等からの電話による受診勧奨を実施。 ・受診勧奨の一定期間後に受診確認を実施。
	アウトカム	20%	20%	20%		

NO	概要			指標	目標		
	分類	事業名	事業の目的及び概要	対象	令和6年度	令和7年度	令和8年度
16		医療費通知	1月から10月までにかかった医療機関、医療費等の情報を年1回通知。	受診者全員（任継除く）	アウトプット ・通知回数（年1回予定） ・通知数等を確認	—	—
					アウトカム 医療費等を確認	—	—
17		ジェネリック医薬品普及	ジェネリック医薬品に切り替えることで医療費削減が見込める対象者に、ジェネリック医薬品の詳細や削減見込み額を通知。	差額通知：500円以上の差額があるもの 希望シール：新規組合員等	アウトプット ・通知回数（年1回予定） ・通知数等を確認	—	—
					アウトカム 後発医薬品使用割合 ※国の定める目標に従う 参考：国の目標値 使用割合（数量ベース） 令和11年度までに80%以上		
18	情報提供、啓発等	受診行動適正化	組合員のうち重複受診・頻回受診及び重複服薬の懸念がある対象者に対し、適切受診の促進及び医療費の適正化を図る。	組合員	アウトプット 通知対象者数	—	—
					アウトカム 医療費等を確認	—	—
19		医療費分析、統計	特定健康診査のデータ分析に基づく所属別健診結果の推移に当該所属所の課題を付して提供。	—	アウトプット 全所属所への健康レポート提出	—	—
					アウトカム —	—	—
20		レセプト審査	入院、外来、調剤の全レセプトについて点検を実施。	—	アウトプット 再審査申出件数	—	—
					アウトカム —	—	—
21	広報、ホームページ		手洗いうがいの励行、食後の歯磨き習慣の継続、喫煙の弊害などの健康保持増進記事を掲載。	—	アウトプット データヘルス計画に関連する記事の掲載	—	—
					アウトカム —	—	—
22	保健体育・セミナー	健康ウォーキング	日帰りバスウォークを外部委託により開催。（参加費2,500円）	組合員及び配偶者と子	アウトプット 参加者数	—	—
					アウトカム 健診結果の問診により生活習慣状況を確認	—	—
23		退職者セミナー	退職後の医療保険や年金の説明と個別相談を行う。	年度中に退職する予定の組合員とその配偶者	アウトプット 参加者数	—	—
					アウトカム アンケートにより参加者の満足度等を確認	—	—

NO		目標			体制・方法（ストラクチャー・プロセス）	
		令和9年度	令和10年度	令和11年度	ストラクチャー	プロセス
16	アウトプット	—	—	—	・ 通知書作成・発送は組合にて実施。	—
	アウトカム	—	—	—		
17	アウトプット	—	—	—	・ 差額通知の対象抽出、通知書作成・発送は組合にて実施。	—
	アウトカム	—	—	—		
18	アウトプット	—	—	—	・ 対象者抽出は業者に委託。	—
	アウトカム	—	—	—		
19	アウトプット	—	—	—	・ 所属所別健康度レポート作成、医療費分析については業者に委託。	—
	アウトカム	—	—	—		
20	アウトプット	—	—	—	—	—
	アウトカム	—	—	—		
21	アウトプット	—	—	—	—	—
	アウトカム	—	—	—		
22	アウトプット	—	—	—	—	—
	アウトカム	—	—	—		
23	アウトプット	—	—	—	—	—
	アウトカム	—	—	—		

N O	概要				指標		目標		
	分類	事業名	事業の目的及び概要	対象			令和6年度	令和7年度	令和8年度
24	保健体育・セミナー	退職準備セミナー	「退職後のライフプラン」や健康管理に関する講演、年金の説明を行う。 ※令和7年度で終了	年度中に退職する予定のない50歳から59歳までの組合員とその配偶者	アウトプット	参加者数	－	－	
					アウトカム	アンケートにより参加者の満足度等を確認。	－	－	
25		ライフプランセミナー	「退職後のライフプラン」や健康管理に関する講演、年金の説明を行う。 ※令和8年度から退職準備セミナーに代わって実施	40歳以上の組合員とその配偶者	アウトプット	参加者数			－
					アウトカム	アンケートにより参加者の満足度等を確認。			－
26		健康セミナー	運動習慣の重要性と生活習慣病予防に役立つ情報を提供。（RIZAPセミナー） 令和6年度：オンライン型 令和7年度：参集型 ※令和7年度で終了	組合員	アウトプット	参加者数	200人	200人	
					アウトカム	アンケートにより参加者の満足度等を確認。	－	－	
27		健康動画配信	運動習慣の重要性と生活習慣病予防に役立つ情報動画を提供する。 ※令和8年度から実施	組合員	アウトプット	（未定。今後検討して決定する。）			－
					アウトカム	－			－
28	保養所	相互利用協定施設	組合員や被扶養者が相互利用協定施設を公務出張以外で利用する時に宿泊費の一部を助成。 【助成額】 ・里創人倶楽部伊勢志摩 1人1泊2食4,000円、1泊2食以外2,000円 ・それ以外の相互利用協定施設等 1人1泊2,000円	組合員及び被扶養者	アウトプット	利用者数	－	－	－
					アウトカム	－	－	－	－
29	インセンティブ	健康ウォーキング助成	ウォーキング大会等に参加し完歩した場合、最初の完歩日から1年以内に5回参加した方に「健康グッズ」を進呈。	組合員	アウトプット	申請件数	－	－	－
					アウトカム	健診結果の問診により生活習慣状況を確認。	－	－	－
30	コラボヘルス	コラボヘルス	・所属所の衛生管理担当者及び事務担当者を対象に、医療費及び健診に係るデータ分析結果を提示し、併せてメタボリックシンドロームに関する講演を開催。（人事・健康管理担当者等研修会） ・住民の健康づくり事業に係る協定、健康事業所認定及び健診データの提供など健康推進を支援。 ・共済組合と共同での保健事業の実施を希望する所属所と調整の上、所属所単位で健康・運動・禁煙等をテーマにした講座等を実施。	所属所	アウトプット	・所属所の健康管理担当者等向け「人事・健康管理担当者等研修会」を実施。 ・所属所単位で健康・運動・禁煙などをテーマにした講座等を実施。	－	－	－
					アウトカム	－	－	－	－

NO		目標			体制・方法（ストラクチャー・プロセス）	
		令和9年度	令和10年度	令和11年度	ストラクチャー	プロセス
24	アウトプット	—	—	—	—	—
	アウトカム	—	—	—		
25	アウトプット	—	—	—	—	—
	アウトカム	—	—	—		
26	アウトプット	—	—	—	・セミナー実施は業者に委託。	・ 共済組合のホームページに案内を掲載及び所属所に文書で通知する。 ・ 共済組合に参加を申込み。 ・ 原則、オンライン形式の実施とする。 ・ アンケートにより参加者の満足度を確認。
	アウトカム	—	—	—		
27	アウトプット	—	—	—	—	—
	アウトカム	—	—	—		
28	アウトプット	—	—	—	—	—
	アウトカム	—	—	—		
29	アウトプット	—	—	—	—	・ 共済組合以外が主催する各種ウォーキング大会に参加し、又はウォーキングコースを完歩した場合、最初の完歩証明日から1年以内に5回参加した方に「健康グッズ」等を提供。
	アウトカム	—	—	—		
30	アウトプット	—	—	—	—	・ 人事・健康管理担当者会議において、データヘルス計画、医療費・健診等結果の分析結果についての情報提供及び有識者講演等を実施予定。 ・ 住民の健康づくり事業に係る協定、健康事業所認定及び健診データの提供など健康推進の支援を実施。 ・ 希望する所属所と調整の上、所属所単位で健康・運動・禁煙等をテーマにした講座等を実施。（共済組合・所属所の共同実施）
	アウトカム	—	—	—		

■ 4.3 保健事業実績

個別保健事業の実績を次に示す。

NO	概要		指標		令和6年度	
	分類	事業名			目標	実績
1	健康診断、 検診助成等	人間ドック	アウトプット	受診件数	16,000件	・ 1泊2日コース： 63件 ・ 1日コース： 12,620件 ・ 巡回コース： 8,817件 計21,500件
			アウトカム	特定健康診査受診率	※特定健康診査の欄参照	—
2		共同巡回健診	アウトプット	受診件数	300件	受診者数：485人
			アウトカム	被扶養者の 特定健康診査受診率	※特定健康診査の欄参照	—
3		脳ドック	アウトプット	受診件数	1,000件	受診件数：1,304件
			アウトカム	—	—	—
4		胃がん検診助成	アウトプット	受診件数	200件	受診件数：304件
			アウトカム	悪性新生物に係る医療費等を確認	—	※医療費については第3章を参照
5		婦人がん検診助成	アウトプット	受診件数	8,000件	受診件数：11,369件
			アウトカム	悪性新生物に係る医療費等を確認	—	※医療費については第3章を参照
6		前立腺がん 検診助成	アウトプット	受診件数	2,000件	受診件数：2,442件
			アウトカム	悪性新生物に係る医療費等を確認	—	※医療費については第3章を参照
7	予防、 支援等	特定健康診査	アウトプット	特定健康診査受診率	全体 91.9% 組合員 98.0% 被扶養者63.0%	全体 91.2% 組合員 98.0% 被扶養者61.0%
			アウトカム	特定保健指導対象者割合、 内臓脂肪症候群該当者割合を確認	—	・ 特定保健指導対象者割合14.2% （積極的6.6%＋動機付け7.6%） ・ 内臓脂肪症候群該当者割合22.8% （該当者9.6%＋予備群該当者13.2%）
8		特定保健指導	アウトプット	特定保健指導実施率	全体 60.0% 組合員 61.8% 被扶養者30.0%	全体 44.4% 組合員 46.0% 被扶養者23.9%
			アウトカム	特定保健指導による 特定保健指導対象者の減少率	—	22.4%

NO	概要		指標		令和 6 年度	
	分類	事業名			目標	実績
9	予防、支援等	若年者保健指導	アウトプット	指導対象者数	250人	対象者：317人 終了者：226人
			アウトカム	通知対象者の保健指導実施率	60%	実施率：71.3%
電話・WEB健康相談		アウトプット	相談件数	1,500件	相談件数：1,333件	
		アウトカム	—	—	—	
メンタルヘルスサポート		アウトプット	相談件数	400件	相談件数：279件	
		アウトカム	—	—	—	
介護支援助成		アウトプット	助成件数	—	助成件数：28件	
		アウトカム	—	—	—	
ファミリー歯科健診		アウトプット	受診件数	—	受診件数：294件	
		アウトカム	要治療者の医療機関受診率	—	要治療者：23人	
県歯科医師会による歯科健診		アウトプット	受診件数	—	受診件数：252件	
		アウトカム	—	—	—	
生活習慣病重症化予防		アウトプット	通知対象者数	—	・要件1：生活習慣病重症化予防 血糖・血圧・脂質有所見　かつ医療機関未受診 ・要件2：糖尿病性腎症重症化予防 血糖有所見かつ尿蛋白3（1+）以上 ・要件1：通知656人　再勧奨（電話連絡）99人 ・要件2：通知9人　再勧奨（電話連絡）4人	
		アウトカム	通知対象者の医療機関受診率	20%	・令和6年12月診療分確認時点 ・要件1：28.5% ・要件2：37.5%	

NO	概要		指標		令和6年度	
	分類	事業名			目標	実績
16	情報提供、啓発等	医療費通知	アウトプット	・通知回数 ・通知数等を確認	・通知回数:年1回予定	通知回数:年1回
			アウトカム	医療費等を確認	—	※医療費については第3章を参照
17		ジェネリック医薬品普及	アウトプット	・通知回数 ・通知数等を確認	・通知回数:年1回予定	・通知回数: 年1回 ・通知発送数: 560件
			アウトカム	後発医薬品使用割合	※国の定める目標に従う 参考: 国の目標値 使用割合(数量ベース) 令和11年度までに80%以上	・使用割合(数量ベース): 89.5% (令和7年3月時点)
18		受診行動適正化	アウトプット	通知対象者数	—	令和5年10月～令和6年3月診療分のレセプトにより3か月以上連続して該当する者を対象とした。 計19人 ・重複受診 2人 ・頻回受診 6人 ・重複服薬 11人
			アウトカム	医療費等を確認	—	通知者について令和6年4～12月診療分のレセプトにより3か月以上連続して該当する人数を確認した。 計16人(3人減) ・重複受診 2人 ・頻回受診 6人 ・重複服薬 8人 ※医療費については第3章を参照
19		医療費分析、統計	アウトプット	全所属所への健康レポート提出	—	全所属所へ健康度レポートを提出
			アウトカム	—	—	—
20		レセプト審査	アウトプット	再審査申出件数	—	—
			アウトカム	—	—	—
21		ホームページ、広報	アウトプット	データヘルス計画に関連する記事の掲載	—	・生活習慣病予防レシピ 広報誌 5・8・11・2・3月号に掲載 ・花粉症に負けない過ごし方 広報誌 2月号に掲載
			アウトカム	—	—	—
22	保健体育・セミナー	健康ウォーキング	アウトプット	参加者数	—	参加者数: 286人
			アウトカム	健診結果の問診により生活習慣状況を確認	—	※生活習慣状況については第3章参照
23		退職者セミナー	アウトプット	参加者数	—	参加者数: 141人
			アウトカム	—	—	—

NO	概要		指標		令和6年度		
	分類	事業名			目標	実績	
24	保健体育・セミナー	退職準備セミナー	アウトフット	参加者数	－	参加者数：127人	
			アウトカム	アンケートにより参加者の満足度等を確認。	－	参加者アンケートの結果:満足度98% 大多数が「役に立った」などの意見であった。	
25		ライフプランセミナー	アウトフット	参加者数	－	※令和8年度から事業開始	
			アウトカム	アンケートにより参加者の満足度等を確認。	－	－	
26		健康セミナー	アウトフット	参加者数	200人	参加者数：64人	
			アウトカム	アンケートにより参加者の満足度等を確認。	－	参加者アンケートの結果:満足度100% 参加後は100%の意識変容を確認することができた。	
27		健康動画配信	アウトフット	(未定。今後検討して決定する。)	－	※令和8年度から事業開始	
			アウトカム	－	－	－	
28		保養所	相互利用協定施設	アウトフット	利用者数	－	利用者数：998人
				アウトカム	－	－	－
29	インセンティブ	健康ウォーキング 助成	アウトフット	申請件数	－	申請件数：6件	
			アウトカム	健診結果の問診により生活習慣状況を確認。	－	※生活習慣状況については第3章参照	
30	コラボヘルス	コラボヘルス	アウトフット	・所属所の健康管理担当者等向け「人事・健康管理担当者等研修会」を実施。 ・所属所単位で健康・運動・禁煙などをテーマにした講座等を実施。	－	令和6年11月に人事・健康管理担当者等研修会を実施。 ＜テーマ＞ ・特定保健指導の必要性について ・所属所における健康課題とその対策について	
			アウトカム	－	－	－	

データヘルス報告書（令和6年度実績）

令和8年3月

発行 三重県市町村職員共済組合

住所 三重県津市河芸町浜田808 津市河芸庁舎4階

電話番号 059-253-2704